

平成16年社会医療診療行為別調査結果の概況

目 次

調査の概要	1頁
結果の概要	
I 診療行為・調剤行為の状況	
〔医科診療〕	
1 診療行為の状況	3
2 一般医療と老人医療別にみた診療行為の状況	5
3 病院と診療所別にみた診療行為の状況	7
4 傷病分類別にみた1日当たり点数の状況	9
〔歯科診療〕	
5 診療行為の状況	10
6 一般医療と老人医療別にみた診療行為の状況	11
7 傷病分類別にみた1日当たり点数の状況	12
〔院外処方〕	
8 院外処方率	12
〔薬局調剤〕	
9 調剤行為の状況	13
II 薬剤の使用状況	
〔薬剤料の比率〕	
1 薬剤料の比率	14
〔医科診療〕	
2 入院外の投薬における薬剤点数の状況	15
3 入院外の投薬における薬価階級別薬剤点数の状況	16
4 入院外の投薬における薬剤種類数の状況	17
5 薬効分類別にみた薬剤使用の状況（入院・入院外）	18
〔薬局調剤〕	
6 薬剤点数の状況	19
7 薬価階級別薬剤点数の状況	20
8 薬剤種類数の状況	21
9 薬効分類別にみた薬剤使用の状況	22
統計表	23
用語の定義	32

平成16年社会医療診療行為別調査の結果は、厚生労働省のホームページにも掲載しています。
ホームページアドレス(<http://www.mhlw.go.jp/>)

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、政府管掌健康保険(以下「政管健保」という。)、組合管掌健康保険(以下「組合健保」という。)及び国民健康保険(以下「国保」という。)における医療の給付の受給者にかかる診療行為の内容、傷病の状況、調剤行為の内容及び薬剤の使用状況等を明らかにし、医療保険行政に必要な基礎資料を得ることを目的とした。

2 調査の範囲

各都道府県の社会保険診療報酬支払基金支部(以下「支払基金支部」という。)及び国民健康保険団体連合会(以下「国保団体連合会」という。)において、審査決定された政管健保、組合健保及び国保の一般医療及び老人医療の医科診療及び歯科診療の診療報酬明細書及び調剤報酬明細書(以下「明細書」という。)を調査の対象とした。

調査の客体は、第一次抽出単位を保険医療機関及び保険薬局とし、第二次抽出単位を明細書とする層化無作為二段抽出法により抽出された明細書とした。

	施設数	明細書件数		
		総数	一般医療	老人医療
医科	10 342	380 069	219 258	160 811
病院	1 145	136 608	77 658	58 950
診療所	9 197	243 461	141 600	101 861
歯科	721	22 786	12 545	10 241
調剤	3 941	77 861	43 301	34 560

3 調査の時期

平成16年6月審査分

4 調査の事項

診療報酬明細書 …… 年齢、傷病名、診療実日数、診療行為別点数・回数及び薬剤の使用状況(薬品名・使用量等)等

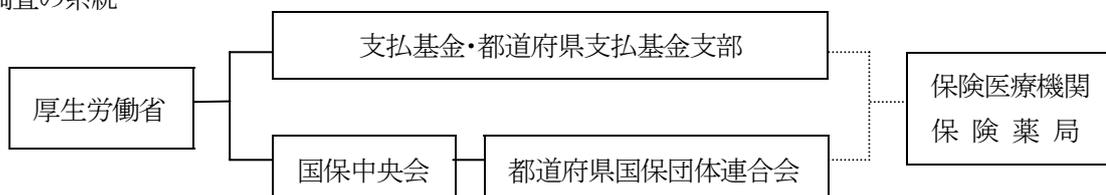
調剤報酬明細書 …… 年齢、処方せん受付回数、調剤行為別点数・回数及び薬剤の使用状況(薬品名・使用量等)等

5 調査の方法及び系統

(1) 調査の方法

支払基金支部及び国保団体連合会が、調査の対象となった保険医療機関及び保険薬局の明細書から別に定める抽出率により抽出を行い、その写しを厚生労働省大臣官房統計情報部に提出する方法により行った。

(2) 調査の系統



6 結果の集計

集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

7 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—	数値が表章単位に満たない場合	0.0
統計項目のありえない場合	・	負数の場合	△

(2) 掲載の数値は四捨五入のため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。

(3) この概況に掲載の数値は、政管健保、組合健保及び国保における平成16年6月審査分の全国推計数である。

(参考)

1 診療報酬点数表及び薬価基準改定の状況

- 実施時期 平成16年4月1日
- 改定幅 全体改定率 △1.0%
 - (1) 診療報酬改定
 - 改定率 ±0%
 - (2) 薬価改定等
 - 改定率 △1.0%
 - ア 薬価改定
 - 改定率 △0.9% (薬価ベース△4.2%)
 - イ 材料価格改定
 - 改定率 △0.1%

2 診断群分類による包括評価制度 (DPC) について

16年調査実施時点では、大学病院の本院、国立がんセンター及び国立循環器病センターの計82施設 (15年調査時点では経過措置期間内のため、24施設) 及び16年4月から開始されたDPC試行的適用の対象病院51施設のうち8施設 (経過措置期間内のため) において、医科一般病棟の入院について診断群分類における包括評価請求が行われている。

注) 診療行為分類「診断群分類による包括評価等」には、包括評価の所定点数に、特定入院料に関する加算及び未実施減算を含む。

結果の概要

I 診療行為・調剤行為の状況

〔医科診療〕

1 診療行為の状況

(1) 入院における1件当たり点数は 35,866.7 点で、前年に比べ 1,328.3 点、3.8%増加している。

1日当たり点数は 2,167.3 点で、前年に比べ 10.9 点、0.5%減少している。診療行為別にみると、「入院料等」1,271.8 点(構成割合 58.7%)が最も高く、次いで「手術」247.5 点(11.4%)、「注射」137.2 点(6.3%)の順となっている。

1件当たり日数は 16.55 日で、前年に比べ 0.69 日増加している。(表 1、図 1)

表 1 診療行為別にみた入院の1件当たり点数、1日当たり点数、1件当たり日数

(各年6月審査分)

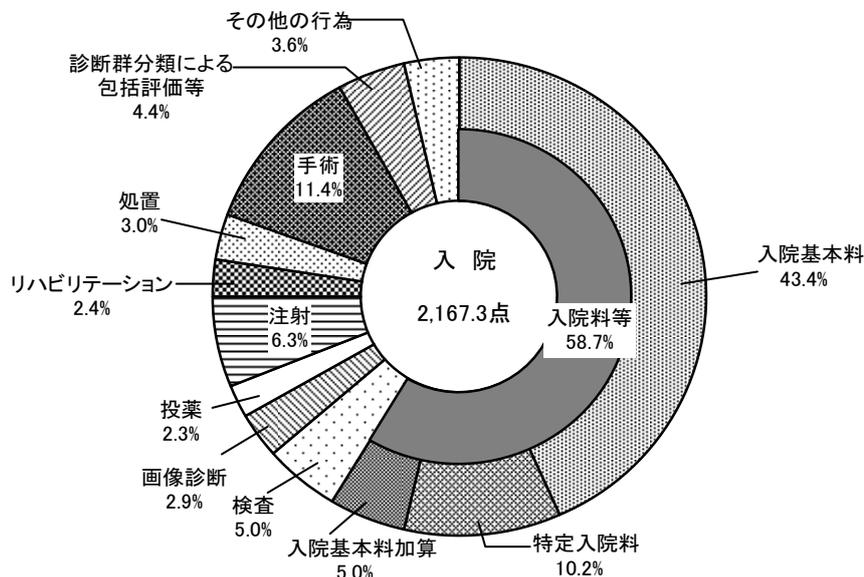
診療行為	1件当たり点数				1日当たり点数			
	平成16年	平成15年	対前年比		平成16年	平成15年	対前年比	
			増加点数	増加率(%)			増加点数	増加率(%)
総数	35 866.7	34 538.5	1 328.3	3.8	2 167.3	2 178.2	△ 10.9	△ 0.5
初診・再診	49.0	54.3	△ 5.3	△ 9.7	3.0	3.4	△ 0.5	△ 13.5
指導管理	311.0	343.8	△ 32.8	△ 9.5	18.8	21.7	△ 2.9	△ 13.3
在宅医療	55.8	59.8	△ 4.0	△ 6.7	3.4	3.8	△ 0.4	△ 10.6
検査	1 790.2	2 109.7	△ 319.5	△ 15.1	108.2	133.1	△ 24.9	△ 18.7
画像診断	1 025.9	1 212.2	△ 186.3	△ 15.4	62.0	76.5	△ 14.5	△ 18.9
投薬	811.0	896.6	△ 85.6	△ 9.5	49.0	56.5	△ 7.5	△ 13.3
注射	2 270.7	2 508.7	△ 238.1	△ 9.5	137.2	158.2	△ 21.0	△ 13.3
リハビリテーション	875.0	710.6	164.3	23.1	52.9	44.8	8.1	18.0
精神科専門療法	186.2	167.3	18.9	11.3	11.2	10.6	0.7	6.6
処置	1 093.6	967.3	126.3	13.1	66.1	61.0	5.1	8.3
手術	4 096.2	3 899.7	196.6	5.0	247.5	245.9	1.6	0.6
麻酔	598.1	620.3	△ 22.2	△ 3.6	36.1	39.1	△ 3.0	△ 7.6
放射線治療	88.4	144.4	△ 56.1	△ 38.8	5.3	9.1	△ 3.8	△ 41.4
入院料等	21 047.0	20 542.7	504.2	2.5	1 271.8	1 295.5	△ 23.8	△ 1.8
診断群分類による包括評価等	1 568.6	300.8	1 267.8	421.4	94.8	19.0	75.8	399.6
(1件当たり日数)	(16.55)	(15.86)						
入院時食事療養(単位:円)	33 409	31 953	1 456	4.6	2 019	2 015	4	0.2

注:1)入院時食事療養は、「総数」には含まない。

2)「診断群分類による包括評価等」の対象は、平成16年90施設、平成15年24施設である。

図 1 診療行為別にみた入院の1日当たり点数の構成割合

(平成16年6月審査分)



注:その他の行為は、「初・再診」「指導管理等」「在宅医療」「精神科専門療法」「麻酔」及び「放射線治療」である。

(2) 入院外における1件当たり点数は1,276.3点で、前年に比べ24.5点、2.0%増加している。

1日当たり点数は680.6点で、前年に比べ45.6点、7.2%増加している。診療行為別にみると、「投薬」153.7点(構成割合22.6%)が最も高く、次いで「初・再診」126.8点(18.6%)、「検査」108.1点(15.9%)の順となっている。

1件当たり日数は1.88日で、前年に比べ0.10日減少している。(表2、図2)

表2 診療行為別にみた入院外の1件当たり点数、1日当たり点数、1件当たり日数

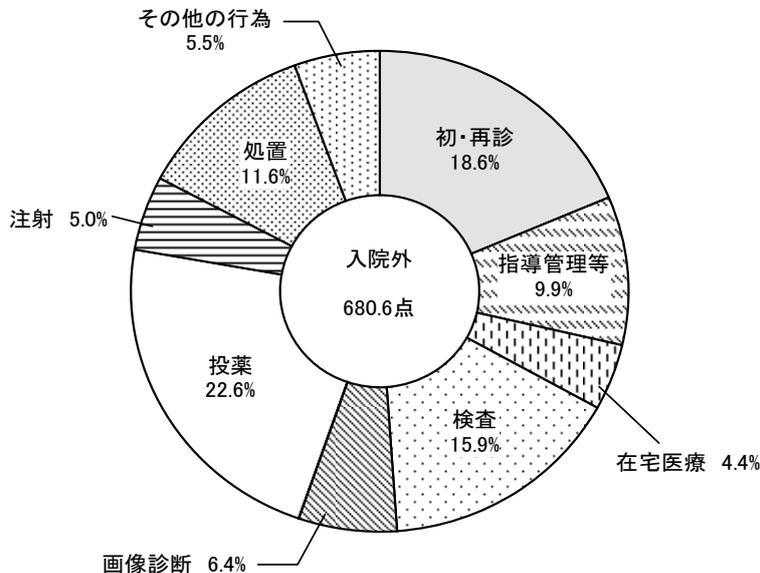
(各年6月審査分)

診療行為	1件当たり点数				1日当たり点数			
	平成16年	平成15年	対前年比		平成16年	平成15年	対前年比	
			増加点数	増加率(%)			増加点数	増加率(%)
総数	1 276.3	1 251.8	24.5	2.0	680.6	635.1	45.6	7.2
初・再診	237.7	238.4	△ 0.7	△ 0.3	126.8	121.0	5.8	4.8
指導管理等	126.8	125.1	1.8	1.4	67.6	63.4	4.2	6.6
在宅医療	56.3	59.9	△ 3.6	△ 6.1	30.0	30.4	△ 0.4	△ 1.3
検査	202.7	201.1	1.6	0.8	108.1	102.0	6.1	5.9
画像診断	81.4	84.2	△ 2.9	△ 3.4	43.4	42.7	0.7	1.5
投薬	288.3	302.3	△ 14.0	△ 4.6	153.7	153.4	0.4	0.3
注射	64.4	68.6	△ 4.2	△ 6.1	34.4	34.8	△ 0.5	△ 1.3
リハビリテーション	11.2	10.4	0.8	7.6	6.0	5.3	0.7	13.1
精神科専門療法	25.1	19.4	5.7	29.4	13.4	9.8	3.5	36.0
処置	147.8	112.3	35.5	31.6	78.8	57.0	21.8	38.3
手術	25.0	23.4	1.6	6.6	13.3	11.9	1.4	12.1
麻酔	6.2	4.5	1.7	37.4	3.3	2.3	1.0	44.4
放射線治療	3.3	1.9	1.3	69.0	1.7	1.0	0.8	77.7
(1件当たり日数)	(1.88)	(1.97)						

注:「総数」には「入院料等(短期滞在手術基本料1)」を含む。

図2 診療行為別にみた入院外の1日当たり点数の構成割合

(平成16年6月審査分)



注:その他の行為は、「リハビリテーション」「精神科専門療法」「手術」「麻酔」「放射線治療」及び「入院料等」である。

2 一般医療と老人医療別にみた診療行為の状況

(1) 入院における1件当たり点数は、一般医療 32,876.9 点、老人医療 39,206.0 点となっている。

1日当たり点数は、一般医療 2,280.6 点、老人医療 2,070.9 点で、年齢階級別にみると、「0～14 歳」2,912.2 点が最も高く、次いで「70～79 歳」2,335.5 点となっており、「80 歳以上」1,916.3 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、老人医療は、一般医療と比べ「入院料等」「処置」の割合が多く、「診断群分類による包括評価等」「手術」の割合は少なくなっている。

1件当たり日数は、一般医療 14.42 日、老人医療 18.93 日となっている。(表3、図3)

表3 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた入院の診療行為別
1件当たり点数、1日当たり点数、1件当たり日数

(平成16年6月審査分)

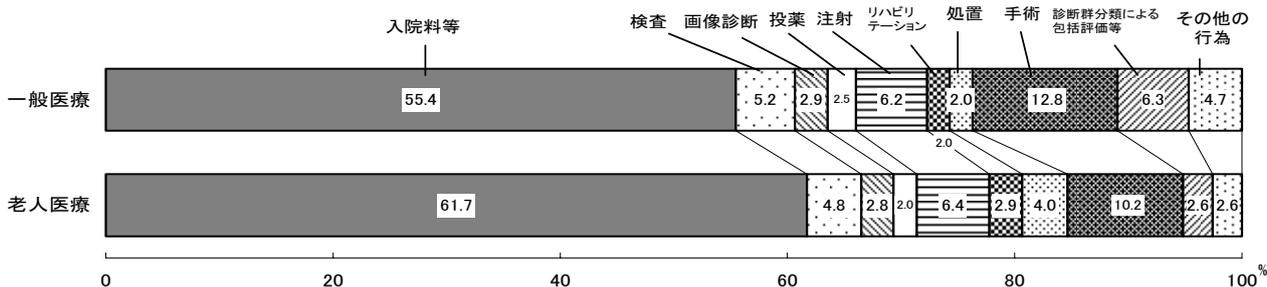
診療行為	一般医療	老人医療	年齢階級				
			0～14歳	15～39歳	40～69歳	70～79歳	80歳以上
1 件 当 た り 点 数							
総初診	32 876.9	39 206.0	21 109.9	24 374.4	37 462.0	40 537.9	38 047.6
・再診	58.1	38.8	111.5	76.4	42.5	38.2	41.3
指導管理	314.1	307.6	163.8	286.6	340.2	341.6	284.8
在宅医療	39.6	73.8	16.7	16.3	54.6	91.6	50.6
検査	1 715.7	1 873.5	903.1	1 216.8	1 945.6	2 221.5	1 632.8
画像診断	946.2	1 115.0	279.3	600.4	1 117.6	1 311.7	994.6
投薬	822.2	798.6	213.6	603.5	984.4	923.9	693.8
注射	2 054.6	2 512.0	1 156.1	1 283.0	2 341.1	2 722.6	2 467.7
リハビリテーション	651.0	1 125.2	227.9	309.3	825.6	1 161.5	1 087.1
精神科専門療法	270.7	91.7	9.6	263.5	330.2	110.8	59.8
処置	670.2	1 566.4	323.5	340.1	1 007.1	1 473.2	1 387.0
手術	4 192.9	3 988.2	1 003.7	2 881.3	4 847.3	5 549.5	2 912.6
麻酔	750.2	428.3	674.8	720.6	730.0	635.0	300.9
放射線治療	104.5	70.3	3.5	46.6	124.3	139.8	27.5
入院料等	18 227.3	24 196.2	14 328.4	14 063.7	20 603.4	22 125.4	25 566.7
診断群分類による包括評価等	2 059.4	1 020.4	1 694.0	1 666.3	2 167.7	1 691.8	540.2
1 日 当 た り 点 数							
総初診	2 280.6	2 070.9	2 912.2	2 149.6	2 211.8	2 335.5	1 916.3
・再診	4.0	2.0	15.4	6.7	2.5	2.2	2.1
指導管理	21.8	16.2	22.6	25.3	20.1	19.7	14.3
在宅医療	2.7	3.9	2.3	1.4	3.2	5.3	2.5
検査	119.0	99.0	124.6	107.3	114.9	128.0	82.2
画像診断	65.6	58.9	38.5	53.0	66.0	75.6	50.1
投薬	57.0	42.2	29.5	53.2	58.1	53.2	34.9
注射	142.5	132.7	159.5	113.1	138.2	156.9	124.3
リハビリテーション	45.2	59.4	31.4	27.3	48.7	66.9	54.8
精神科専門療法	18.8	4.8	1.3	23.2	19.5	6.4	3.0
処置	46.5	82.7	44.6	30.0	59.5	84.9	69.9
手術	290.9	210.7	138.5	254.1	286.2	319.7	146.7
麻酔	52.0	22.6	93.1	63.6	43.1	36.6	15.2
放射線治療	7.3	3.7	0.5	4.1	7.3	8.1	1.4
入院料等	1 264.4	1 278.0	1 976.6	1 240.3	1 216.5	1 274.7	1 287.7
診断群分類による包括評価等	142.9	53.9	233.7	147.0	128.0	97.5	27.2
1 件 当 た り 日 数							
	14.42	18.93	7.25	11.34	16.94	17.36	19.85
入院時食事療養(単位:円)							
1件当たり金額	29 009	38 323	12 279	22 072	34 816	35 453	39 735
1日当たり金額	2 012	2 024	1 694	1 947	2 056	2 043	2 001

注:1)「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。

2)入院時食事療養は、「総数」には含まない。

図3 一般医療 - 老人医療別にみた入院の診療行為別1日当たり点数の構成割合

(平成16年6月審査分)



注:その他の行為は、「初・再診」「指導管理等」「在宅医療」「精神科専門療法」「麻酔」及び「放射線治療」である。

(2) 入院外における1件当たり点数は、一般医療 1,145.8 点、老人医療 1,607.4 点となっている。

1日当たり点数は、一般医療 659.9 点、老人医療 721.6 点で、年齢階級別にみると、「40～69 歳」768.2 点が最も高く、次いで「70～79 歳」680.8 点となっており、「0～14 歳」472.6 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、老人医療は、一般医療と比べ「在宅医療」「投薬」の割合が多く、「初・再診」「検査」の割合は少なくなっている。

1件当たり日数は、一般医療 1.74 日、老人医療 2.23 日となっている。(表4、図4)

表4 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた入院外の診療行為別
1件当たり点数、1日当たり点数、1件当たり日数

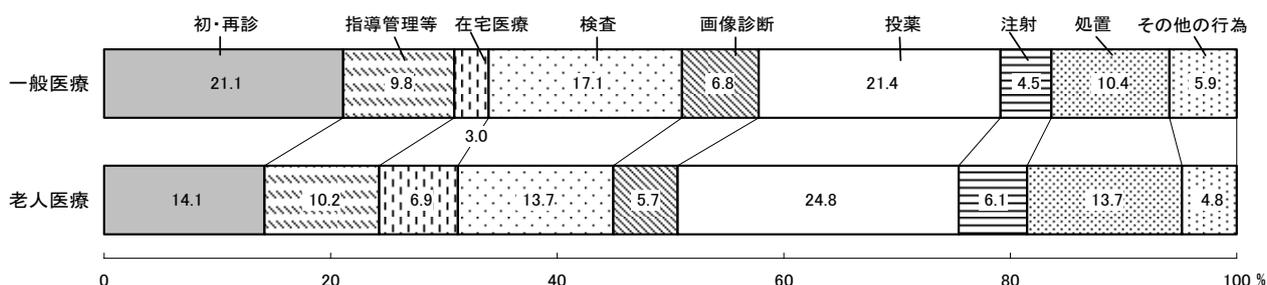
(平成16年6月審査分)

診療行為	一般医療	老人医療	年齢階級				
			0～14歳	15～39歳	40～69歳	70～79歳	80歳以上
1 件 当 た り 点 数							
総数	1 145.8	1 607.4	778.4	909.7	1 410.9	1 489.5	1 508.8
初診	241.9	227.3	310.2	247.5	220.3	228.9	221.4
・再診	112.5	163.2	134.4	33.8	139.3	157.0	160.2
指導管理	34.6	111.5	27.8	16.6	48.2	68.1	163.7
在宅医療	195.7	220.5	88.2	203.6	222.3	233.0	198.0
検査	77.4	91.4	30.2	63.4	95.1	100.9	78.0
画像診断	244.8	398.8	117.4	172.7	308.0	384.9	405.2
投薬	51.5	97.3	7.4	26.9	76.4	90.8	93.2
注射	8.8	17.3	6.6	5.4	10.3	19.3	12.8
リハビリテーション	29.0	15.2	2.4	54.2	27.5	14.0	18.0
精神科専門療法	119.3	220.0	38.8	63.5	224.3	148.5	117.8
処置	22.9	30.4	15.1	16.9	28.4	29.0	28.7
手術	3.9	12.0	0.0	2.9	5.0	12.2	10.6
麻酔	3.6	2.4	-	2.2	5.7	2.6	0.9
放射線治療							
1 日 当 た り 点 数							
総数	659.9	721.6	472.6	595.4	768.2	680.8	679.7
初診	139.3	102.0	188.3	162.0	119.9	104.6	99.7
・再診	64.8	73.3	81.6	22.1	75.8	71.8	72.2
指導管理	19.9	50.0	16.9	10.9	26.3	31.1	73.8
在宅医療	112.7	99.0	53.6	133.3	121.0	106.5	89.2
検査	44.6	41.0	18.3	41.5	51.8	46.1	35.1
画像診断	141.0	179.0	71.3	113.1	167.7	175.9	182.5
投薬	29.7	43.7	4.5	17.6	41.6	41.5	42.0
注射	5.1	7.8	4.0	3.5	5.6	8.8	5.8
リハビリテーション	16.7	6.8	1.4	35.5	15.0	6.4	8.1
精神科専門療法	68.7	98.8	23.5	41.6	122.1	67.9	53.1
処置	13.2	13.7	9.2	11.1	15.4	13.3	12.9
手術	2.2	5.4	0.0	1.9	2.7	5.6	4.8
麻酔	2.1	1.1	-	1.4	3.1	1.2	0.4
放射線治療							
1 件 当 た り 日 数							
	1.74	2.23	1.65	1.53	1.84	2.19	2.22

注: 1)「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。
2)「総数」には「入院料等(短期滞在手術基本料1)」を含む。

図4 一般医療 - 老人医療別にみた入院外の診療行為別1日当たり点数の構成割合

(平成16年6月審査分)



注: その他の行為は、「リハビリテーション」「精神科専門療法」「手術」「麻酔」「放射線治療」及び「入院料等」である。

3 病院と診療所別にみた診療行為の状況

(1) 入院における1件当たり点数は、病院 37,387.1 点、診療所(有床)15,873.2 点となっている。

1日当たり点数は、病院 2,218.8 点、診療所(有床)1,260.4 点で、病院について種類別にみると、「特定機能病院」3,879.3 点が最も高く、次いで「一般病院」2,847.4 点となっており、「精神病院」1,059.7 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、「療養病床を有する病院」は、「一般病院」と比べ「入院料等」の割合が多くなっている。

1件当たり日数は、病院 16.85 日、診療所(有床)12.59 日となっている。(表5、図5)

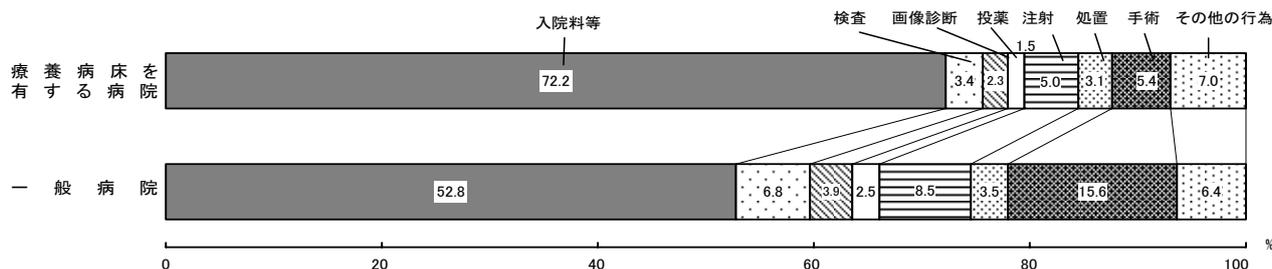
表5 病院 - 診療所(有床)別にみた入院の診療行為別1件当たり点数、1日当たり点数、1件当たり日数

診療行為	病院					診療所(有床)
	総数	精神病院	特定機能病院	療養病床を有する病院	一般病院	
	1 件 当 た り 点 数					
総数	37 387.1	30 851.6	51 471.5	37 829.7	36 995.9	15 873.2
初診	50.6	3.8	50.6	44.6	63.2	27.6
指導管理	325.6	131.3	304.1	306.3	376.6	119.6
在宅医療	57.4	0.0	77.9	43.7	74.6	34.5
検査	1 845.4	395.7	1 066.1	1 291.6	2 531.5	1 064.8
画像診断	1 077.8	59.6	435.8	881.8	1 453.9	344.5
投薬	831.8	1 266.5	611.0	576.4	922.0	537.9
注射	2 349.0	167.9	1 449.8	1 889.5	3 131.7	1 240.2
リハビリテーション	924.4	20.1	328.0	1 814.1	627.1	225.0
精神科専門療法	199.9	1 340.8	40.8	107.2	51.0	5.3
処置	1 097.7	222.9	468.3	1 182.0	1 278.0	1 039.2
手術	4 171.0	3.4	8 853.7	2 046.4	5 779.1	3 113.2
麻酔	620.9	2.3	1 691.8	281.9	836.6	299.3
放射線治療	95.1	-	475.5	36.5	110.8	0.0
入院料等	22 052.7	27 237.3	5 626.5	27 317.6	19 533.5	7 821.0
診断群分類による包括評価等	1 687.9	-	29 993.3	9.9	226.1	-
	1 日 当 た り 点 数					
総数	2 218.8	1 059.7	3 879.3	1 896.3	2 847.4	1 260.4
初診	3.0	0.1	3.8	2.2	4.9	2.2
指導管理	19.3	4.5	22.9	15.4	29.0	9.5
在宅医療	3.4	0.0	5.9	2.2	5.7	2.7
検査	109.5	13.6	80.4	64.7	194.8	84.5
画像診断	64.0	2.0	32.8	44.2	111.9	27.4
投薬	49.4	43.5	46.0	28.9	71.0	42.7
注射	139.4	5.8	109.3	94.7	241.0	98.5
リハビリテーション	54.9	0.7	24.7	90.9	48.3	17.9
精神科専門療法	11.9	46.1	3.1	5.4	3.9	0.4
処置	65.1	7.7	35.3	59.2	98.4	82.5
手術	247.5	0.1	667.3	102.6	444.8	247.2
麻酔	36.8	0.1	127.5	14.1	64.4	23.8
放射線治療	5.6	-	35.8	1.8	8.5	0.0
入院料等	1 308.8	935.5	424.1	1 369.3	1 503.4	621.0
診断群分類による包括評価等	100.2	-	2 260.5	0.5	17.4	-
	1 件 当 た り 日 数					
	16.85	29.11	13.27	19.95	12.99	12.59
入院時食事療養(単位:円)						
1件当たり金額	34 390	62 177	25 312	42 162	25 298	20 509
1日当たり金額	2 041	2 136	1 908	2 113	1 947	1 629

注: 1) 病院の「総数」には、結核療養所を含む。
2) 入院時食事療養は、「総数」には含まない。

図5 療養病床を有する病院 - 一般病院別にみた入院の診療行為別1日当たり点数の構成割合

(平成16年6月審査分)



注: その他の行為は、「初・再診」「指導管理等」「在宅医療」「リハビリテーション」「精神科専門療法」「麻酔」「放射線治療」及び「診断群分類による包括評価等」である。

(2) 入院外における1件当たり点数は、病院 1,477.8 点、診療所 1,172.9 点となっている。

1日当たり点数は、病院 896.5 点、診療所 588.9 点で、病院について種類別にみると、「特定機能病院」1,118.7 点が最も高く、次いで「一般病院」968.0 点となっており、「療養病床を有する病院」735.4 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、診療所は、病院と比べ「初・再診」「指導管理等」の割合が多く、「画像診断」「検査」の割合は少なくなっている。

1件当たり日数は、病院 1.65 日、診療所 1.99 日となっている。(表6、図6)

表6 病院 - 診療所別にみた入院外の診療行為別1件当たり点数、1日当たり点数、1件当たり日数

(平成16年6月審査分)

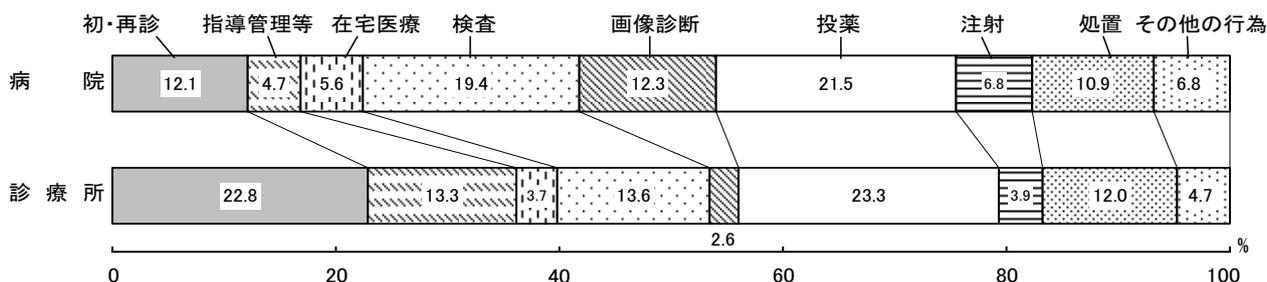
診療行為	病 院					診療所
	総数	精神病院	特定機能病院	療養病床を有する病院	一般病院	
	1 件 当 た り 点 数					
総数	1 477.8	1 640.6	1 491.7	1 377.9	1 514.4	1 172.9
初・再診	178.9	159.5	126.1	202.5	174.7	268.0
指導管理等	69.9	36.5	44.9	80.9	69.0	156.1
在宅医療	82.2	7.0	110.4	70.2	87.4	43.0
検査	286.2	55.3	380.9	227.6	311.3	159.8
画像診断	181.1	12.8	245.3	143.9	197.3	30.2
投薬	317.3	565.1	310.4	299.6	316.2	273.4
注射	100.5	13.3	137.8	75.4	111.1	45.9
リハビリテーション	16.3	1.1	5.0	26.6	13.5	8.6
精神科専門療法	36.5	789.0	22.6	26.3	13.0	19.3
処置	160.8	0.7	34.1	187.6	168.6	141.1
手術	34.4	0.0	50.4	29.3	36.4	20.2
麻酔	4.0	0.3	5.1	5.6	3.3	7.3
放射線治療	9.6	-	18.8	2.4	12.2	0.0
	1 日 当 た り 点 数					
総数	896.5	783.5	1 118.7	735.4	968.0	588.9
初・再診	108.5	76.2	94.5	108.1	111.7	134.5
指導管理等	42.4	17.4	33.7	43.2	44.1	78.4
在宅医療	49.9	3.3	82.8	37.5	55.9	21.6
検査	173.6	26.4	285.7	121.5	198.9	80.3
画像診断	109.8	6.1	184.0	76.8	126.1	15.2
投薬	192.5	269.9	232.8	159.9	202.1	137.3
注射	60.9	6.4	103.3	40.2	71.0	23.1
リハビリテーション	9.9	0.5	3.8	14.2	8.6	4.3
精神科専門療法	22.1	376.8	17.0	14.1	8.3	9.7
処置	97.5	0.3	25.6	100.1	107.8	70.8
手術	20.9	0.0	37.8	15.6	23.2	10.1
麻酔	2.4	0.1	3.8	3.0	2.1	3.7
放射線治療	5.8	-	14.1	1.3	7.8	0.0
	1 件 当 た り 日 数					
	1.65	2.09	1.33	1.87	1.56	1.99

注: 1) 病院の「総数」には、結核療養所を含む。

2) 「総数」には「入院料等(短期滞在手術基本料1)」を含む。

図6 病院 - 診療所別にみた入院外の診療行為別1日当たり点数の構成割合

(平成16年6月審査分)



注: その他の行為は、「リハビリテーション」「精神科専門療法」「手術」「麻酔」「放射線治療」及び「入院料等」である。

4 傷病分類別にみた1日当たり点数の状況

入院における傷病分類別1日当たり点数は、一般医療、老人医療とも「VII 眼及び付属器の疾患」が最も高く、それぞれ4,315.5点、4,532.4点となっている。

入院外における傷病分類別1日当たり点数は、一般医療、老人医療とも「XIV 尿路性器系の疾患」が最も高く、それぞれ1,722.1点、2,288.5点となっている。(表7)

表7 入院 - 入院外・一般医療 - 老人医療別にみた傷病分類別1日当たり点数
(平成16年6月審査分)

傷病分類	入 院		入 院 外	
	一般医療	老人医療	一般医療	老人医療
総 数	2 280.6	2 070.9	659.9	721.6
I 感染症及び寄生虫症	2 532.4	2 073.9	545.9	531.9
II 新生物	3 430.0	2 698.3	1 430.9	1 493.9
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	2 871.9	2 446.0	2 158.5	1 204.6
乳房の悪性新生物 (再掲)	3 645.4	2 600.2	2 241.7	1 447.9
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3 057.7	2 488.2	763.5	804.2
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	2 308.1	1 859.1	859.6	835.1
糖尿病 (再掲)	2 273.0	1 881.6	1 012.9	944.9
V 精神及び行動の障害	1 116.9	1 148.1	671.1	716.5
精神分裂病、分裂病型障害及び妄想性障害 (再掲)	1 066.5	1 031.3	782.6	696.5
VI 神経系の疾患	1 943.7	1 866.3	707.4	703.5
VII 眼及び付属器の疾患	4 315.5	4 532.4	568.4	599.9
白内障 (再掲)	5 057.7	4 738.9	614.3	591.5
VIII 耳及び乳様突起の疾患	2 945.4	2 281.9	387.0	350.6
IX 循環器系の疾患	3 429.8	2 165.9	725.0	691.6
高血圧性疾患 (再掲)	2 032.0	1 723.7	669.5	666.4
虚血性心疾患 (再掲)	7 085.6	3 399.5	944.0	846.1
脳梗塞 (再掲)	2 390.7	1 774.2	778.0	671.0
X 呼吸器系の疾患	2 871.1	2 232.2	472.8	737.2
肺炎 (再掲)	2 709.7	2 397.7	758.1	1 072.8
急性気管支炎及び急性細気管支炎 (再掲)	2 836.8	1 495.7	486.0	571.6
喘息 (再掲)	2 669.3	1 797.8	554.3	760.8
X I 消化器系の疾患	2 881.7	2 417.0	753.4	671.5
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	2 525.4	1 826.4	397.4	375.4
皮膚炎及び湿疹 (再掲)	2 794.3	2 299.0	390.8	330.4
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	2 433.8	1 871.9	390.0	349.4
関節症 (再掲)	2 763.4	2 439.7	362.1	359.1
X IV 尿路性器系の疾患	3 126.1	2 502.4	1 722.1	2 288.5
腎不全 (再掲)	3 132.2	2 566.7	3 233.1	3 047.3
尿路結石症 (再掲)	4 229.2	3 797.2	1 477.8	1 139.1
X V 妊娠、分娩及び産じょく	2 458.5	-	555.3	-
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	2 420.3	2 062.5	471.3	484.9
骨折 (再掲)	2 265.7	2 037.6	477.7	500.7
その他の傷病	2 886.3	2 028.3	671.9	742.6

注:1) 傷病分類は、「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」(ICD-10)を準用した。

2) 「その他の傷病」は、「周産期に発生した病態」「先天奇形、変形及び染色体異常」及び「症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」である。

〔歯科診療〕

5 診療行為の状況

1件当たり点数は、1,401.2点で、前年に比べ51.4点、3.5%減少している。

1日当たり点数は、618.0点で、前年に比べ22.4点、3.8%増加している。診療行為別にみると、「歯冠修復及び欠損補綴」285.1点（構成割合46.1%）が最も高く、次いで「処置」95.1点（15.4%）、「初・再診」84.7点（13.7%）の順となっている。

1件当たり日数は2.27日で、前年に比べ0.17日減少している。（表8、図7）

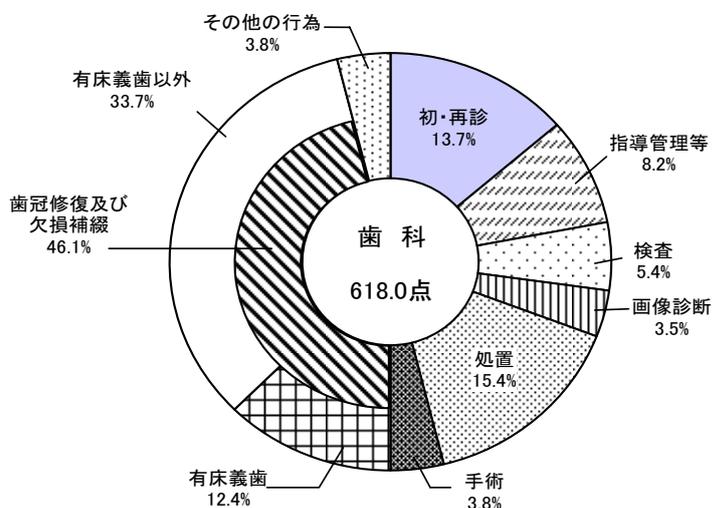
表8 診療行為別にみた1件当たり点数、1日当たり点数、1件当たり日数

診療行為	1件当たり点数				1日当たり点数			
	平成16年	平成15年	対前年比		平成16年	平成15年	対前年比	
			増加点数	増加率(%)			増加点数	増加率(%)
総数	1 401.2	1 452.6	△ 51.4	△ 3.5	618.0	595.6	22.4	3.8
初・再診	191.9	188.2	3.8	2.0	84.7	77.2	7.5	9.7
指導管理等	114.8	105.1	9.7	9.2	50.6	43.1	7.5	17.5
在宅医療	13.4	17.0	△ 3.6	△ 21.2	5.9	7.0	△ 1.1	△ 15.3
検査	75.8	76.5	△ 0.7	△ 0.9	33.4	31.4	2.1	6.6
画像診断	49.7	47.9	1.8	3.8	21.9	19.6	2.3	11.6
投薬	26.6	25.8	0.8	3.2	11.7	10.6	1.2	11.1
注射	1.3	1.5	△ 0.3	△ 18.4	0.6	0.6	△ 0.1	△ 12.2
リハビリテーション	0.2	0.2	△ 0.1	△ 28.3	0.1	0.1	△ 0.0	△ 22.9
処置	215.7	226.6	△ 10.8	△ 4.8	95.1	92.9	2.2	2.4
手術	53.3	54.9	△ 1.6	△ 3.0	23.5	22.5	1.0	4.4
麻酔	3.4	4.0	△ 0.6	△ 15.7	1.5	1.6	△ 0.2	△ 9.3
放射線治療	0.2	0.1	0.1	71.7	0.1	0.1	0.0	84.7
歯冠修復及び欠損補綴	646.3	693.9	△ 47.6	△ 6.9	285.1	284.5	0.5	0.2
歯科矯正	1.8	0.4	1.4	314.2	0.8	0.2	0.6	345.5
入院料等	6.9	10.5	△ 3.6	△ 34.0	3.1	4.3	△ 1.2	△ 29.0
(1件当たり日数)	(2.27)	(2.44)						

(各年6月審査分)

図7 診療行為別にみた1日当たり点数の構成割合

(平成16年6月審査分)



注：その他の行為は、「在宅医療」「投薬」「注射」「リハビリテーション」「麻酔」「放射線治療」「歯科矯正」及び「入院料等」である。

6 一般医療と老人医療別にみた診療行為の状況

1件当たり点数は、一般医療 1,334.0 点、老人医療 1,808.0 点となっている。

1日当たり点数は、一般医療 600.4 点、老人医療 711.4 点で、年齢階級別にみると、「80 歳以上」783.8 点が最も高く、次いで「70～79 歳」674.5 点となっており、「0～14 歳」458.5 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、老人医療は、一般医療と比べて「歯冠修復及び欠損補綴」の割合が多く、「処置」「初・再診」の割合が少なくなっている。

1件当たり日数は、一般医療 2.22 日、老人医療 2.54 日となっている。(表9、図8)

表9 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた診療行為別 1 件当たり点数、1 日当たり点数、1 件当たり日数

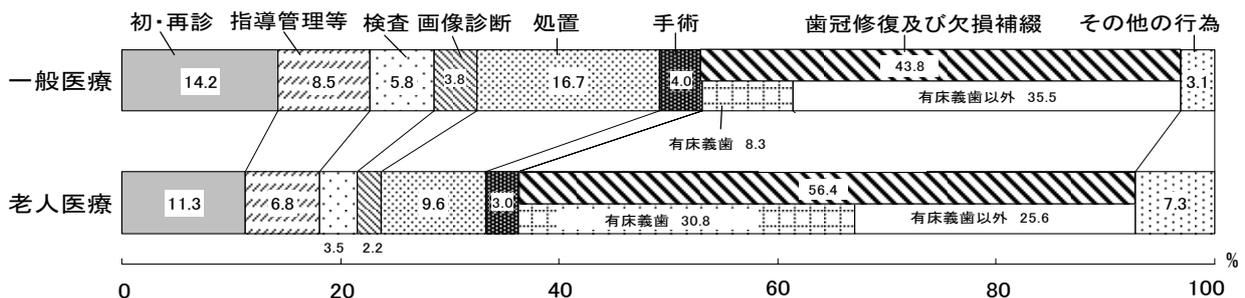
(平成16年6月審査分)

診療行為	一般医療	老人医療	年齢階級				
			0～14歳	15～39歳	40～69歳	70～79歳	80歳以上
1 件 当 た り 点 数							
総数	1 334.0	1 808.0	794.8	1 349.7	1 441.9	1 747.3	1 938.3
初診	190.0	203.5	211.8	185.8	187.2	198.3	206.7
再診	113.4	123.1	68.4	126.3	118.3	124.3	110.0
指導管理	2.2	81.3	-	1.5	4.0	32.2	174.5
在宅医療	78.0	62.6	15.9	96.9	83.9	66.6	56.7
検査	51.4	39.6	25.0	69.1	48.7	43.9	34.0
画像診断	26.1	29.4	9.2	28.8	29.0	29.9	25.7
投薬	1.1	2.5	0.1	1.0	1.3	1.7	4.1
注射	0.2	0.2	0.7	0.1	0.1	0.1	0.3
リハビリテーション	222.8	172.9	112.2	260.7	232.2	182.9	153.1
処置	53.0	54.7	24.3	52.8	60.2	59.0	42.0
手術	3.6	2.1	2.9	5.0	3.1	2.2	1.6
麻酔	0.2	0.6	-	0.1	0.2	0.6	0.6
放射線治療	584.6	1 019.7	318.3	509.1	668.5	993.2	1 105.3
歯冠修復及び欠損補綴	2.1	-	3.2	5.6	0.0	0.4	-
歯科矯正等	5.4	16.0	2.6	7.0	5.2	12.1	23.7
1 日 当 た り 点 数							
総数	600.4	711.4	458.5	611.6	619.1	674.5	783.8
初診	85.5	80.0	122.2	84.2	80.4	76.6	83.6
再診	51.0	48.4	39.5	57.3	50.8	48.0	44.5
指導管理	1.0	32.0	-	0.7	1.7	12.4	70.6
在宅医療	35.1	24.6	9.2	43.9	36.0	25.7	22.9
検査	23.1	15.6	14.4	31.3	20.9	16.9	13.8
画像診断	11.8	11.6	5.3	13.0	12.5	11.5	10.4
投薬	0.5	1.0	0.1	0.4	0.6	0.7	1.6
注射	0.1	0.1	0.4	0.1	0.0	0.0	0.1
リハビリテーション	100.3	68.0	64.8	118.1	99.7	70.6	61.9
処置	23.9	21.5	14.0	23.9	25.9	22.8	17.0
手術	1.6	0.8	1.7	2.3	1.3	0.9	0.6
麻酔	0.1	0.2	-	0.0	0.1	0.2	0.3
放射線治療	263.1	401.2	183.7	230.7	287.0	383.4	446.9
歯冠修復及び欠損補綴	0.9	-	1.8	2.5	0.0	0.2	-
歯科矯正等	2.4	6.3	1.5	3.2	2.2	4.7	9.6
1 件 当 た り 日 数							
	2.22	2.54	1.73	2.21	2.33	2.59	2.47

注: 「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。

図8 一般医療 - 老人医療別にみた診療行為別 1 日当たり点数の構成割合

(平成16年6月審査分)



注: その他の行為は、「在宅医療」「投薬」「注射」「リハビリテーション」「麻酔」「放射線治療」「歯科矯正」及び「入院料等」である。

7 傷病分類別にみた1日当たり点数の状況

1日当たり点数は、一般医療では「歯の補綴」904.6点が最も高く、次いで「顎の疾患・口内炎等」831.3点となっており、老人医療では「顎の疾患・口内炎等」849.9点、次いで「むしば」846.7点となっている。(表10)

表10 一般医療 - 老人医療別にみた傷病分類1日当たり点数

(平成16年6月審査分)

傷病分類	一般医療	老人医療
総数	600.4	711.4
むしば	601.5	846.7
歯髄炎等	579.3	633.5
歯根膜炎等	508.2	592.6
歯周炎等	528.0	540.5
顎の疾患・口内炎等	831.3	849.9
歯の補綴	904.6	846.5
その他の傷病	501.2	441.9

注: 1) 傷病分類は、「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回改正」(ICD-10)を準用した。

2) 「その他の傷病」は、「歯肉炎等」「その他の歯の疾患」「智歯周囲炎等」「褥瘡性潰瘍等」である。

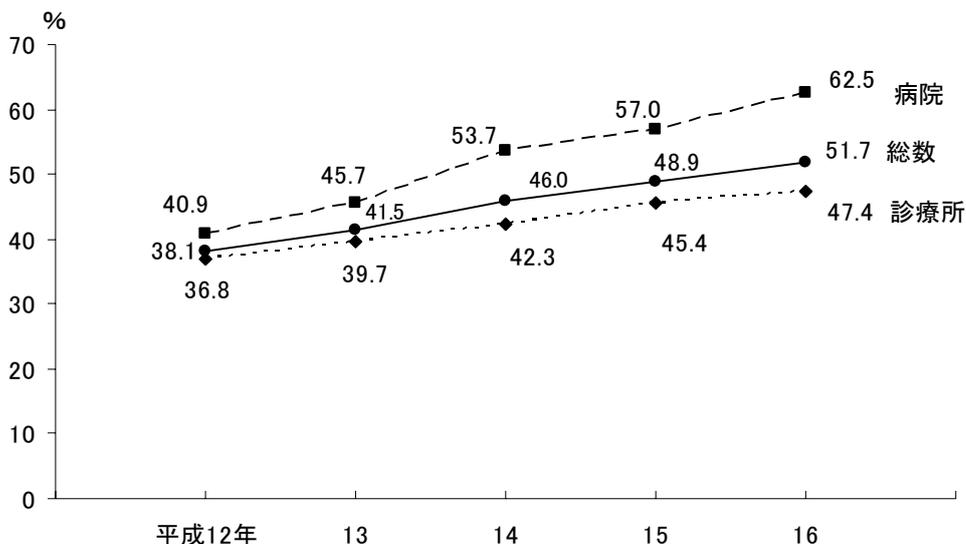
〔院外処方〕

8 院外処方率

医科の入院外における院外処方率は、総数で51.7%となっており、前年(48.9%)に比べ2.8ポイント上昇している。これを病院・診療所別にみると、病院62.5%、診療所47.4%と病院の方が高く、前年に比べそれぞれ5.5ポイント、2.0ポイント上昇している。(図9)

図9 病院 - 診療所別にみた医科の院外処方率の年次推移

(各年6月審査分)



注: 院外処方率とは、「処方料」及び「処方せん料」の合計算定回数に対する「処方せん料」算定回数の割合である。

〔薬局調剤〕

9 調剤行為の状況

1件当たり点数は936.9点で、前年に比べ12.1点、1.3%減少している。

処方せんの受付1回当たり点数は649.6点で、前年に比べ32.4点、5.3%増加している。調剤行為別にみると、「薬剤料」460.5点が最も高く、次いで「調剤技術料」150.5点、「指導管理料」37.4点となっている。

1件当たり受付回数は1.44回で、前年に比べ0.10回減少している。

一般医療、老人医療別にみると、1件当たり点数は一般医療805.5点、老人医療1,266.4点、受付1回当たり点数は一般医療580.3点、老人医療802.5点となっており、いずれも老人医療が高くなっている。受付1回当たり点数の調剤行為別の構成割合をみると、一般医療、老人医療ともに「薬剤料」の割合が約7割となっている。

(表11・12、図10)

表11 調剤行為別にみた1件当たり点数、受付1回当たり点数、1件当たり受付回数

(各年6月審査分)

調剤行為	1件当たり点数				受付1回当たり点数			
	平成16年	平成15年	対前年比		平成16年	平成15年	対前年比	
			増加点数	増加率(%)			増加点数	増加率(%)
総数	936.9	949.0	△ 12.1	△ 1.3	649.6	617.2	32.4	5.3
調剤技術料	217.1	227.1	△ 10.1	△ 4.4	150.5	147.7	2.8	1.9
指導管理料	54.0	56.6	△ 2.6	△ 4.6	37.4	36.8	0.6	1.7
薬剤料	664.2	664.1	0.1	0.0	460.5	431.9	28.6	6.6
特定保険医療材料料	1.4	1.0	0.4	35.1	1.0	0.7	0.3	44.0
(1件当たり受付回数)	(1.44)	(1.54)						

表12 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた調剤行為別1件当たり点数、受付1回当たり点数、1件当たり受付回数

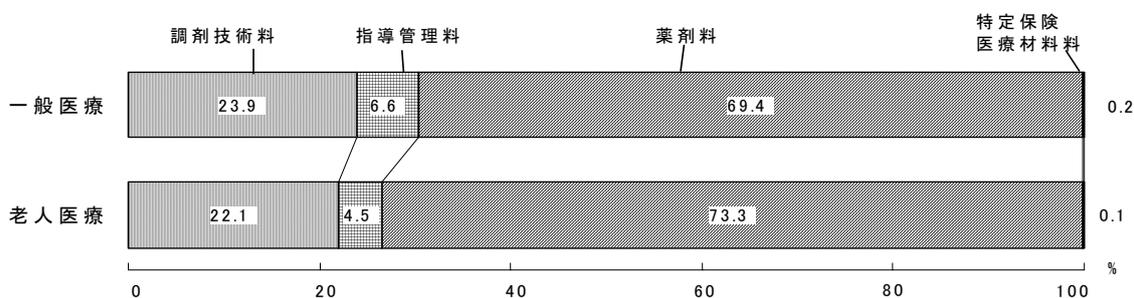
(平成16年6月審査分)

調剤行為	総数	一般医療	老人医療	年齢階級				
				0～14歳	15～39歳	40～69歳	70～79歳	80歳以上
1件当たり点数								
総数	936.9	805.5	1 266.4	489.2	622.1	982.5	1 215.6	1 283.9
調剤技術料	217.1	192.2	279.4	183.6	156.4	207.1	260.4	302.0
指導管理料	54.0	52.8	56.9	61.8	51.0	50.3	55.8	57.5
薬剤料	664.2	558.9	928.2	243.7	414.1	722.5	897.4	923.1
特定保険医療材料料	1.4	1.4	1.3	0.0	0.6	2.5	1.4	0.7
受付1回当たり点数								
総数	649.6	580.3	802.5	320.7	479.5	716.9	799.5	778.8
調剤技術料	150.5	138.5	177.1	120.3	120.5	151.1	171.3	183.2
指導管理料	37.4	38.0	36.0	40.5	39.3	36.7	36.7	34.9
薬剤料	460.5	402.6	588.2	159.8	319.2	527.2	590.2	559.9
特定保険医療材料料	1.0	1.0	0.9	0.0	0.4	1.8	0.9	0.4
1件当たり受付回数								
	1.44	1.39	1.58	1.53	1.30	1.37	1.52	1.65

注: 「総数」、「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。

図10 一般医療 - 老人医療別にみた調剤行為別受付1回当たり点数の構成割合

(平成16年6月審査分)



II 薬剤の使用状況

〔薬剤料の比率〕

1 薬剤料の比率

医科総点数に占める薬剤料の割合は、総数で 21.6%、入院 11.3%、入院外 33.2%となっており、そのうち、「投薬」「注射」で使用された薬剤料の割合は、それぞれ、19.2%、9.4%、30.2%となっている。

前年と比較すると、総数で 0.6 ポイント、入院で 0.7 ポイント、入院外で 1.3 ポイント下降している。

歯科総点数に占める薬剤料の割合は、総数で 1.0%となっている。

薬局調剤総点数に占める薬剤料の割合は、総数で 70.9%となっており、前年に比べ、0.9 ポイント上昇している。

また、薬局調剤分を医科、歯科それぞれに合算して求めた薬剤料の割合は、医科総数で 27.5%、歯科総数で 1.2%となっている。(表13)

表13 医科(入院 - 入院外) - 歯科 - 薬局調剤別薬剤料の比率の年次推移

(単位:%)

(各年6月審査分)

		平成12年 (2000)	13 (2001)	14 (2002)	15 (2003)	16 (2004)	医科一歯科に薬局調剤分 (調剤報酬明細書分)を含めた場合				
							平成14年	15	16		
医 科	総 数										
		薬剤料	22.8	22.5	21.6	22.2	21.6	26.1	27.6	27.5	
		投薬・注射	20.1	19.9	18.9	19.6	19.2	23.9	25.5	25.3	
		投薬	14.9	14.7	13.6	13.9	13.7	19.3	20.6	20.7	
		注射	5.2	5.2	5.3	5.7	5.4	4.6	4.9	4.6	
		その他の薬剤料	2.8	2.6	2.7	2.6	2.5	2.2	2.1	2.2	
		入 院									
		薬剤料	12.1	11.8	12.0	12.0	11.3	12.0	12.0	11.3	
		投薬・注射	9.7	9.4	9.7	9.8	9.4	9.7	9.8	9.4	
		投薬	2.5	2.5	2.6	2.6	2.5	2.6	2.6	2.5	
		注射	7.2	7.0	7.1	7.1	6.9	7.1	7.1	6.9	
		その他の薬剤料	2.4	2.4	2.3	2.2	2.0	2.3	2.2	2.0	
		入 院 外									
		薬剤料	34.1	34.0	33.4	34.5	33.2	35.0	36.6	35.8	
		投薬・注射	31.0	31.0	30.2	31.5	30.2	32.8	34.6	33.5	
	投薬	28.0	27.7	27.1	27.4	26.4	29.7	30.9	30.1		
	注射	3.0	3.3	3.1	4.1	3.8	3.1	3.7	3.4		
	その他の薬剤料	3.1	2.9	3.2	3.0	3.0	2.2	2.0	2.3		
歯 科	薬剤料	1.0	1.0	0.9	1.0	1.0	1.1	1.2	1.2		
薬 局 調 剤	薬剤料	-	67.5	67.8	70.0	70.9					

- 注:1) 「処方せん料」を算定している明細書、「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCIに係る明細書は除外してある。ただし、「薬局調剤分(調剤報酬明細書分)を含めた場合」は「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCIに係る明細書のみ除外してある。
- 2) 「薬局調剤分(調剤報酬明細書分)を含めた場合」では、薬局調剤分の総点数、薬剤料を医科、歯科にそれぞれ合算している。
- 3) 「薬剤料」とは、総点数に占める「投薬」「注射」及びその他の診療行為の中の薬剤点数の割合である。ただし、「薬局調剤分(調剤報酬明細書分)を含めた場合」では、薬局調剤分の内服薬及び外用薬を「投薬」に、注射薬を「注射」に合算している。
- 4) 「その他の薬剤料」とは、総点数に占める、「在宅医療」「検査」「画像診断」「リハビリテーション」「精神科専門療法」「処置」「手術」及び「麻酔」の中で使用された薬剤点数の割合である。
- 5) 入院時食事療養は、費用額算定を点数換算(入院時食事療養÷10)して総点数に含めている。
- 6) 薬局調剤分(調剤報酬明細書分)に係る調査は平成13年から実施している。

〔医科診療〕

2 入院外の投薬における薬剤点数の状況

薬剤点数別件数の構成割合は、「500点未満」が一般医療74.2%、老人医療53.5%と、最も多くなっている。「500～1000点未満」は一般医療15.7%、老人医療24.3%、「1000点以上」はそれぞれ10.2%、22.1%となっている。

後発医薬品の出現した明細書の割合は、一般医療 44.7%、老人医療 55.3%となっており、一般医療に比べ老人医療の割合が高くなっている。(表14、図11)

表14 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた薬剤点数階級別件数の構成割合（入院外・投薬）

(単位:%) (平成16年6月審査分)

	総数	500点未満						500～1000	1000～1500	1500～2000	2000点以上	総件数に占める後発医薬品が出現した明細書の割合(再掲)	
		総数	100点未満	100～200未満	200～300	300～400	400～500						
総数	100.0 (100.0)	68.0 (67.7)	25.0 (24.3)	16.8 (17.3)	12.0 (12.1)	7.7 (8.0)	6.6 (6.1)	18.2 (17.8)	7.0 (7.4)	2.9 (3.2)	3.9 (3.9)	47.8 (46.4)	
一般医療	100.0 (100.0)	74.2 (74.8)	28.8 (28.1)	18.9 (20.0)	12.7 (13.2)	7.3 (7.8)	6.4 (5.6)	15.7 (15.0)	5.4 (5.4)	2.0 (2.2)	2.9 (2.6)	44.7 (43.3)	
老人医療	100.0 (100.0)	53.5 (51.9)	16.0 (15.8)	11.6 (11.2)	10.2 (9.4)	8.6 (8.3)	7.1 (7.2)	24.3 (24.1)	10.8 (11.8)	5.1 (5.4)	6.2 (6.7)	55.3 (53.2)	
年齢階級	0～14歳	100.0	94.0	51.8	23.3	10.7	4.7	3.4	4.7	0.9	0.1	0.3	49.7
	15～39歳	100.0	86.0	36.4	24.9	12.7	7.1	5.0	9.2	2.2	1.1	1.6	43.8
	40～69歳	100.0	66.4	21.4	16.2	13.3	8.0	7.5	19.9	7.1	2.6	4.0	43.4
	70～79歳	100.0	55.2	16.5	12.0	10.6	8.6	7.4	24.3	10.3	4.6	5.7	53.6
	80歳以上	100.0	51.9	16.0	11.2	9.6	8.0	7.1	24.4	11.9	5.6	6.2	57.3

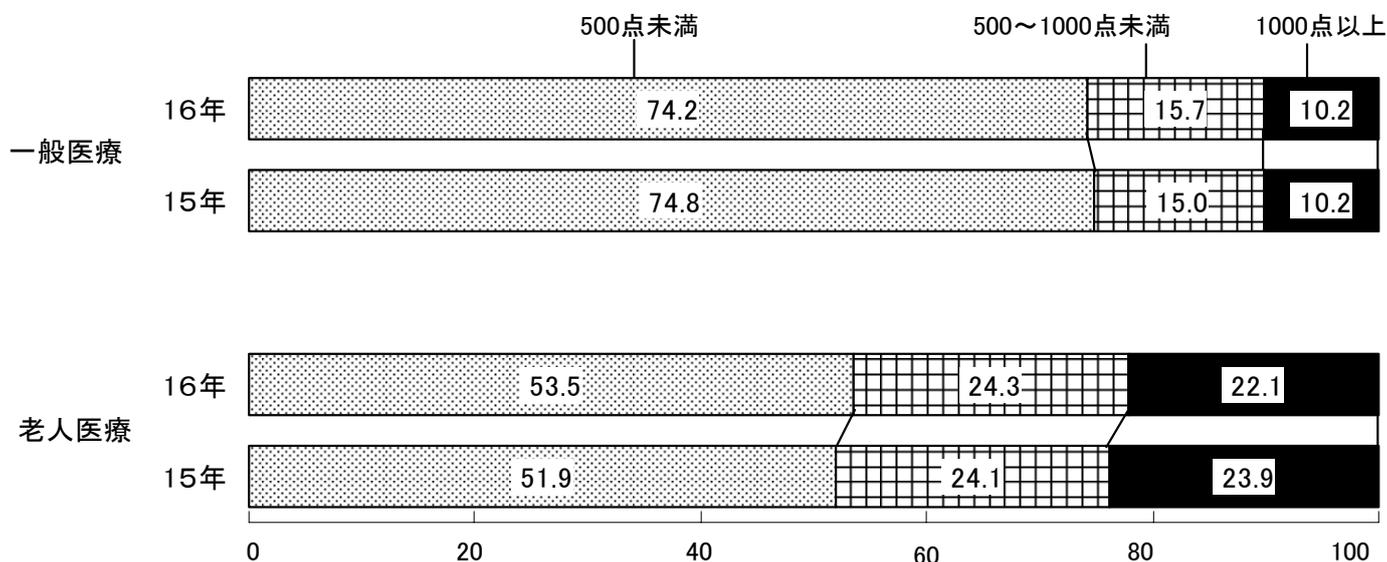
注:1)「投薬」の出現する明細書(ただし「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除く。)を集計の対象としている。

2)「総数」、「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。

3) ()内は平成15年6月審査分

図11 一般医療 - 老人医療別にみた薬剤点数別件数の構成割合（入院外・投薬）

(各年6月審査分)



3 入院外の投薬における薬価階級別薬剤点数の状況

薬価階級別薬剤点数の構成割合は、「250円未満」が一般医療80.9%、老人医療83.7%と、最も多くなっている。「250～500円未満」は一般医療6.6%、老人医療5.4%、「500円以上」はそれぞれ9.0%、7.4%となっている。

後発医薬品の点数の割合は、一般医療 7.6%、老人医療 8.1%となっており、一般医療に比べ老人医療の割合が高くなっている。(表15、図12)

表15 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた薬価階級別薬剤点数の構成割合 (入院外・投薬)

(単位:%)

(平成16年6月審査分)

	総数	250円未満						250～500	500円以上	薬剤名無記載	薬剤点数に占める後発医薬品の点数の割合(再掲)	
		総数	50円未満	50～100円未満	100～150	150～200	200～250					
総数	100.0 (100.0)	82.0 (83.5)	31.4 (32.7)	24.3 (23.5)	10.4 (9.6)	10.5 (12.0)	5.4 (5.7)	6.1 (5.5)	8.3 (7.6)	3.5 (3.4)	7.8 (8.0)	
一般医療	100.0 (100.0)	80.9 (82.3)	29.9 (30.8)	24.6 (23.9)	10.6 (9.5)	10.4 (12.6)	5.3 (5.6)	6.6 (6.5)	9.0 (8.0)	3.5 (3.2)	7.6 (7.6)	
老人医療	100.0 (100.0)	83.7 (85.0)	33.4 (35.2)	23.8 (23.0)	10.1 (9.9)	10.6 (11.2)	5.7 (5.8)	5.4 (4.2)	7.4 (7.0)	3.6 (3.7)	8.1 (8.6)	
年齢階級	0～14歳	100.0	75.9	27.0	21.5	18.4	7.8	1.1	16.7	4.9	2.5	9.0
	15～39歳	100.0	79.0	32.9	21.1	12.0	6.5	6.4	6.6	12.1	2.4	8.4
	40～69歳	100.0	81.3	29.5	25.6	10.0	11.1	5.1	5.9	9.1	3.7	7.2
	70～79歳	100.0	83.9	32.5	24.5	9.8	11.2	5.9	5.0	7.4	3.7	7.9
	80歳以上	100.0	83.4	34.6	22.6	10.1	10.3	5.7	6.8	6.3	3.5	8.5

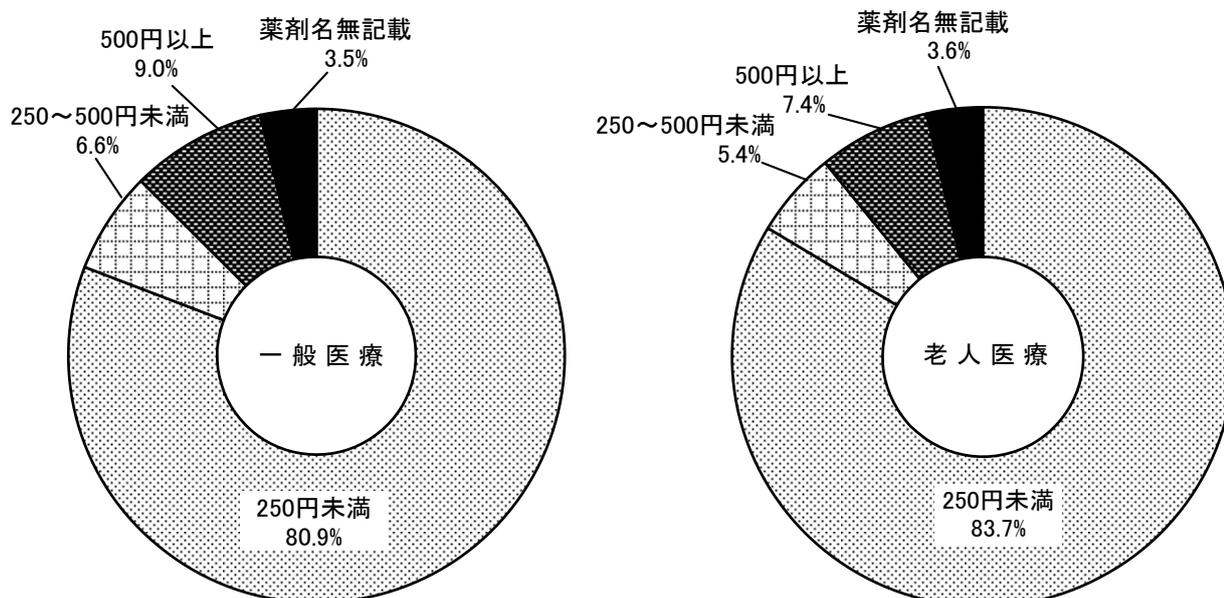
注:1) 「投薬」の出現する明細書(ただし「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除く。)を集計の対象としている。

2) 「総数」、「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。

3) ()内は平成15年6月審査分

図12 一般医療 - 老人医療別にみた薬価階級別薬剤点数の構成割合 (入院外・投薬)

(平成16年6月審査分)



4 入院外の投薬における薬剤種類数の状況

薬剤種類数別件数の構成割合は、一般医療、老人医療とも「1～2種類」が最も多く、それぞれ 46.3%、35.0%となっている。次いで一般医療では「3～4種類」、「5～6種類」、「7種類以上」の順となっており、老人医療では「3～4種類」、「7種類以上」、「5～6種類」の順となっている。

1件当たり薬剤種類数をみると、一般医療3.29、老人医療4.27となっている。(表16、図13)

表16 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた薬剤種類数別件数の構成割合、1件当たり薬剤種類数 (入院外・投薬)

(単位:%) (平成16年6月審査分)

	総数	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類	6種類	7種類	8種類	9種類	10種類以上	1件当たり薬剤種類数		
												1件当たり薬剤種類数に占める後発医薬品の種類数(再掲)		
総数	100.0 (100.0)	22.3 (22.1)	20.7 (21.2)	16.8 (16.8)	12.5 (12.6)	9.1 (8.8)	6.1 (6.2)	4.1 (4.2)	3.0 (2.7)	1.9 (1.8)	3.6 (3.6)	3.58 (3.57)	0.80 (0.77)	
一般医療	100.0 (100.0)	24.6 (24.6)	21.7 (22.0)	17.4 (17.4)	12.7 (12.6)	8.7 (8.5)	5.4 (5.6)	3.3 (3.4)	2.3 (2.1)	1.4 (1.4)	2.4 (2.4)	3.29 (3.29)	0.71 (0.69)	
老人医療	100.0 (100.0)	16.6 (16.6)	18.4 (19.2)	15.2 (15.6)	12.0 (12.5)	10.0 (9.5)	7.8 (7.6)	6.0 (5.9)	4.6 (3.9)	3.1 (2.8)	6.2 (6.4)	4.27 (4.20)	0.99 (0.96)	
年齢階級	0～14歳	100.0	23.4	19.5	16.6	14.0	10.0	6.9	3.7	2.6	1.4	1.9	3.39	0.74
	15～39歳	100.0	24.9	21.9	17.8	13.4	8.8	4.9	2.9	2.3	1.1	2.0	3.21	0.69
	40～69歳	100.0	25.1	22.3	17.2	12.2	8.3	5.1	3.3	2.1	1.6	2.9	3.30	0.71
	70～79歳	100.0	18.1	19.4	16.2	12.2	9.7	7.6	5.3	4.0	2.7	4.8	4.00	0.92
	80歳以上	100.0	15.1	16.8	14.9	11.5	10.4	8.0	6.8	5.4	3.7	7.4	4.53	1.09

注:1) 「投薬」の出現する明細書(ただし「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」注射)を包括した診療行為が出現する明細書は除く。)を集計の対象としている。

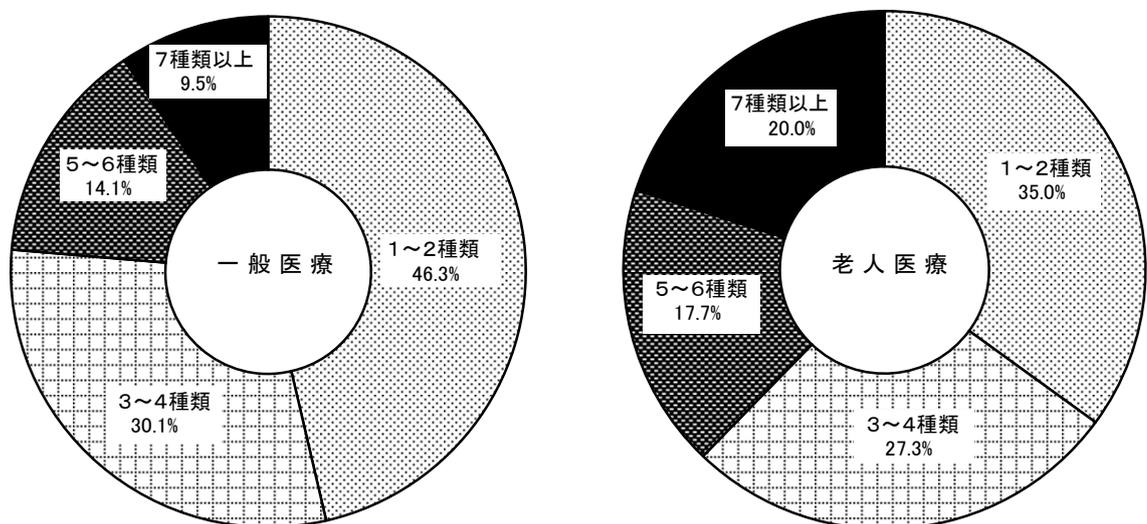
2) 薬剤名無記載は、1種類としている。

3) 「総数」、「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。

4) ()内は平成15年6月審査分

図13 一般医療 - 老人医療別にみた薬剤種類数別件数の構成割合 (入院外・投薬)

(平成16年6月審査分)



5 薬効分類別にみた薬剤使用の状況（入院・入院外）

一般医療、老人医療別にみた薬効分類別薬剤点数の構成割合は、入院では一般医療、老人医療とも「抗生物質製剤」が最も多く、それぞれ 12.9%、18.5%、入院外では一般医療、老人医療とも「循環器官用薬」が最も多く、それぞれ 21.1%、27.4%となっている。（表17）

入院で「抗生物質製剤」を年齢階級別にみると、「70～79歳」が 28.5%、「80歳以上」が 32.2%となっている。入院外で「循環器官用薬」を年齢階級別にみると、「40～69歳」が 48.5%、「70～79歳」が 33.7%となっている。（表18）

表17 一般医療 - 老人医療別にみた薬効分類別薬剤点数の構成割合

(単位:%) (平成16年6月審査分)

	入 院				入 院 外			
	総 数	一般医療	老人医療	後発医薬品 (再掲)	総 数	一般医療	老人医療	後発医薬品 (再掲)
総 数	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	100.0	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	100.0
中枢神経系用薬	9.7 (8.0)	11.5 (9.0)	7.9 (7.1)	5.3	8.0 (7.2)	8.6 (7.4)	7.2 (6.9)	7.0
感覚器官用薬	1.7 (1.8)	1.2 (1.2)	2.1 (2.4)	9.1	3.1 (3.0)	2.7 (2.6)	3.7 (3.6)	6.2
循環器官用薬	8.3 (7.9)	6.0 (5.6)	10.7 (10.1)	10.4	23.6 (23.7)	21.1 (21.0)	27.4 (27.4)	22.9
呼吸器官用薬	0.9 (1.0)	0.7 (0.9)	1.0 (1.0)	0.7	2.3 (2.5)	2.7 (2.9)	1.6 (1.9)	3.5
消化器官用薬	4.9 (5.0)	5.5 (5.6)	4.3 (4.4)	5.6	8.1 (8.2)	7.4 (7.4)	9.2 (9.3)	12.6
ホルモン剤	1.4 (1.8)	1.6 (1.8)	1.3 (1.7)	1.5	4.6 (5.3)	5.1 (5.9)	4.0 (4.5)	2.5
外皮用薬	1.1 (1.1)	0.9 (0.9)	1.4 (1.4)	2.0	4.2 (4.0)	3.8 (3.6)	4.8 (4.5)	6.3
滋養強壮薬	6.1 (6.0)	4.3 (4.7)	7.9 (7.1)	2.9	1.4 (0.8)	1.4 (0.7)	1.3 (1.0)	0.8
血液・体液用薬	8.4 (8.7)	8.1 (8.9)	8.7 (8.4)	22.7	3.7 (3.6)	2.9 (2.8)	5.0 (4.7)	6.0
その他の代謝性医薬品	7.6 (6.9)	6.8 (6.5)	8.5 (7.4)	8.7	9.6 (10.4)	8.3 (9.7)	11.6 (11.4)	6.0
腫瘍用薬	6.8 (7.7)	10.6 (11.5)	3.1 (4.2)	0.3	5.3 (4.3)	5.4 (4.8)	5.0 (3.6)	0.6
アレルギー用薬	0.4 (0.4)	0.3 (0.4)	0.4 (0.4)	0.2	3.7 (4.0)	4.5 (4.9)	2.3 (2.7)	5.5
抗生物質製剤	15.7 (15.9)	12.9 (13.4)	18.5 (18.3)	14.8	3.0 (3.7)	4.2 (5.3)	1.1 (1.4)	1.8
化学療法剤	3.1 (3.4)	3.1 (3.1)	3.1 (3.8)	3.5	2.9 (3.4)	3.8 (4.5)	1.5 (1.8)	2.5
生物学的製剤	10.2 (9.1)	11.1 (9.8)	9.2 (8.4)	-	2.9 (2.5)	4.5 (4.1)	0.4 (0.4)	-
その他の薬効	13.5 (15.2)	15.3 (16.7)	11.8 (13.9)	12.4	10.8 (10.8)	10.8 (10.0)	10.9 (11.8)	15.7

注: 1) 薬剤の出現する明細書(ただし「処方せん料」を算定している明細書、「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCIに係る明細書は除く。)を集計の対象としている。

- 2) 「総数」には、薬剤名無記載を含む。
- 3) ()内は平成15年6月審査分
- 4) 「血液・体液用薬」は、生理食塩液等を指す。
- 5) 「生物学的製剤」は、血液製剤等を指す。
- 6) 「その他の薬効」には、上記分類以外の「ビタミン剤」、「泌尿生殖器官及び肛門用薬」等の分類を含んでいる。

表18 主な薬効分類別にみた年齢階級別薬剤点数の構成割合

(単位:%) (平成16年6月審査分)

	入 院						後発医薬品 (再掲)	入 院 外						
	年 齢 階 級							年 齢 階 級						
	総 数	0～14歳	15～39歳	40～69歳	70～79歳	80歳以上		総 数	0～14歳	15～39歳	40～69歳	70～79歳	80歳以上	
中枢神経系用薬	100.0	1.0	12.3	43.6	25.8	17.3	3.2	100.0	1.1	19.0	41.7	23.3	14.9	6.3
感覚器官用薬	100.0	0.5	1.8	27.1	43.8	26.8	32.5	100.0	5.3	9.3	34.7	32.1	18.6	14.7
循環器官用薬	100.0	0.4	2.1	31.2	34.3	32.1	7.4	100.0	0.0	1.5	48.5	33.7	16.4	7.0
呼吸器官用薬	100.0	10.6	5.4	24.5	31.0	28.5	4.8	100.0	19.3	15.8	34.4	20.7	9.8	11.2
消化器官用薬	100.0	0.9	7.9	45.6	26.3	19.3	6.7	100.0	0.8	7.2	43.8	32.6	15.6	11.2
ホルモン剤	100.0	2.1	11.4	38.5	29.8	18.3	6.0	100.0	19.8	13.7	29.6	24.0	12.9	4.0
外皮用薬	100.0	1.5	5.3	32.2	26.0	34.9	10.2	100.0	3.6	11.4	35.4	33.6	16.0	11.0
滋養強壮薬	100.0	0.8	4.5	27.6	31.5	35.6	2.8	100.0	3.2	13.3	45.2	22.4	16.0	4.3
血液・体液用薬	100.0	2.6	6.3	37.6	29.0	24.6	15.9	100.0	3.2	4.0	37.8	35.3	19.7	11.7
その他の代謝性医薬品	100.0	0.3	2.9	41.8	31.4	23.6	6.7	100.0	1.0	3.9	48.1	31.5	15.5	4.6
腫瘍用薬	100.0	0.4	3.5	66.6	24.7	4.8	0.3	100.0	0.2	2.0	59.6	31.6	6.7	0.8
アレルギー用薬	100.0	5.2	10.1	30.2	28.6	25.9	2.4	100.0	11.0	22.6	38.9	18.6	8.8	10.9
抗生物質製剤	100.0	3.9	8.3	27.1	28.5	32.2	5.5	100.0	27.3	26.3	29.6	11.7	5.2	4.3
化学療法剤	100.0	1.5	10.3	36.1	26.9	25.1	6.7	100.0	2.7	28.3	44.9	16.9	7.2	6.3
生物学的製剤	100.0	4.0	9.3	38.3	26.1	22.3	-	100.0	8.3	5.9	78.4	6.4	0.9	-

注: 1) 薬剤の出現する明細書(ただし「処方せん料」を算定している明細書、「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCIに係る明細書は除く。)を集計の対象としている。

- 2) 「総数」には、年齢不詳を含む。
- 3) 「血液・体液用薬」は、生理食塩液等を指す。
- 4) 「生物学的製剤」は、血液製剤等を指す。

〔薬局調剤〕

6 薬剤点数の状況

薬剤点数別件数の構成割合は、「500点未満」が一般医療68.3%、老人医療45.0%と、最も多くなっている。「500～1000点未満」は一般医療16.7%、老人医療23.2%、「1000点以上」はそれぞれ15.0%、31.9%となっている。

後発医薬品の出現した明細書の割合は、一般医療35.6%、老人医療47.9%となっており、一般医療に比べ老人医療の割合が高くなっている。(表19、図14)

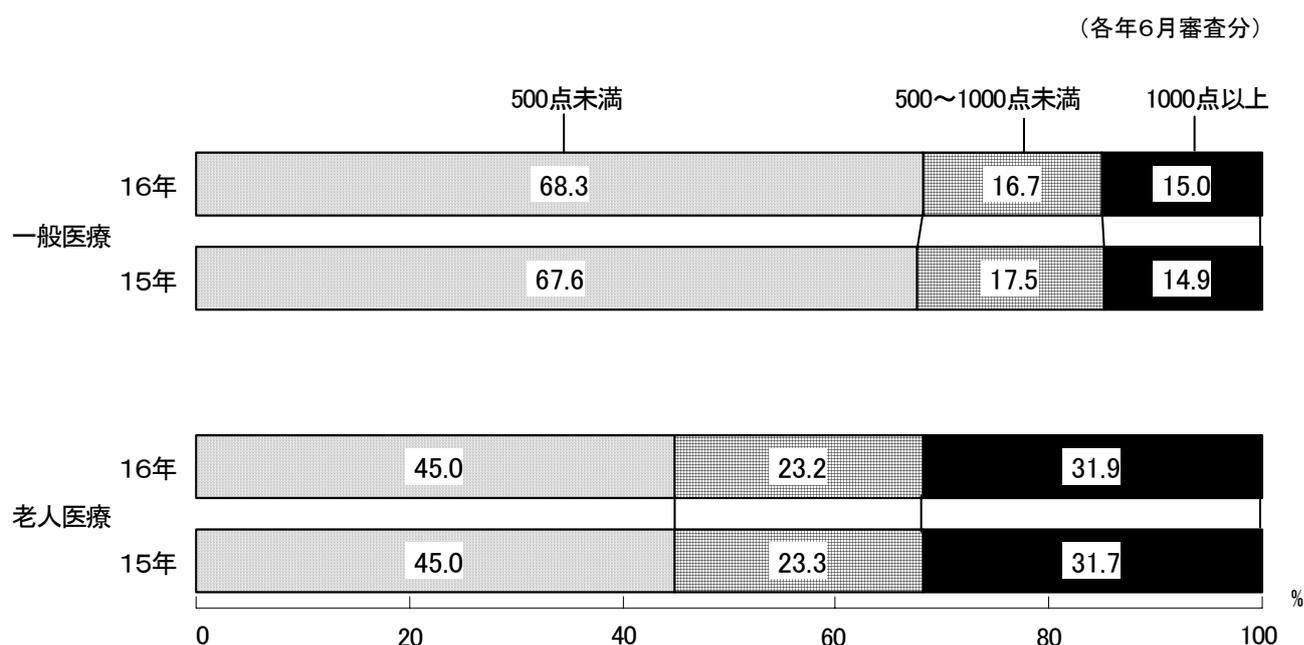
表19 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた薬剤点数階級別件数の構成割合 (薬局調剤)

		総数	500点未満					500～1000	1000～1500	1500～2000	2000点以上	総件数に占める後発医薬品が出現した明細書の割合(再掲)	
			総数	100点未満	100～200未満	200～300	300～400						400～500
総数		100.0 (100.0)	61.6 (60.7)	20.6 (19.8)	15.6 (15.7)	11.3 (11.3)	7.7 (7.8)	6.4 (6.1)	18.6 (19.3)	8.8 (9.0)	4.6 (4.6)	6.4 (6.4)	39.1 (40.0)
一般医療		100.0 (100.0)	68.3 (67.6)	23.5 (22.4)	18.0 (18.3)	12.4 (12.7)	7.9 (8.1)	6.5 (6.1)	16.7 (17.5)	6.9 (7.1)	3.5 (3.3)	4.6 (4.4)	35.6 (36.7)
老人医療		100.0 (100.0)	45.0 (45.0)	13.5 (13.7)	9.6 (9.8)	8.6 (8.2)	7.0 (7.1)	6.3 (6.1)	23.2 (23.3)	13.4 (13.4)	7.6 (7.5)	11.0 (10.9)	47.9 (47.3)
年齢階級	0～14歳	100.0	89.0	40.3	24.0	12.6	7.3	4.7	8.0	1.9	0.7	0.5	44.4
	15～39歳	100.0	78.4	27.0	23.0	13.6	8.7	6.1	13.1	4.4	1.8	2.3	31.6
	40～69歳	100.0	57.7	16.4	14.3	11.8	7.9	7.3	21.0	9.4	4.9	6.9	33.5
	70～79歳	100.0	46.8	13.9	10.0	9.3	7.1	6.5	22.8	13.0	7.1	10.3	45.4
	80歳以上	100.0	43.8	13.1	9.5	8.2	6.9	6.2	23.8	13.5	7.9	11.0	51.0

注: 1) 「総数」、「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。

2) ()内は平成15年6月審査分

図14 一般医療 - 老人医療別にみた薬剤点数別件数の構成割合 (薬局調剤)



7 薬価階級別薬剤点数の状況

薬価階級別薬剤点数の構成割合は、「250円未満」が一般医療79.4%、老人医療83.6%と、最も多くなっている。「250～500円未満」は一般医療8.5%、老人医療7.4%、「500円以上」はそれぞれ12.1%、9.0%となっている。

後発医薬品の点数の割合は、一般医療4.2%、老人医療5.1%となっており、一般医療に比べ老人医療の割合が高くなっている。(表20、図15)

表20 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた薬価階級別薬剤点数の構成割合 (薬局調剤)

(単位:%) (平成16年6月審査分)

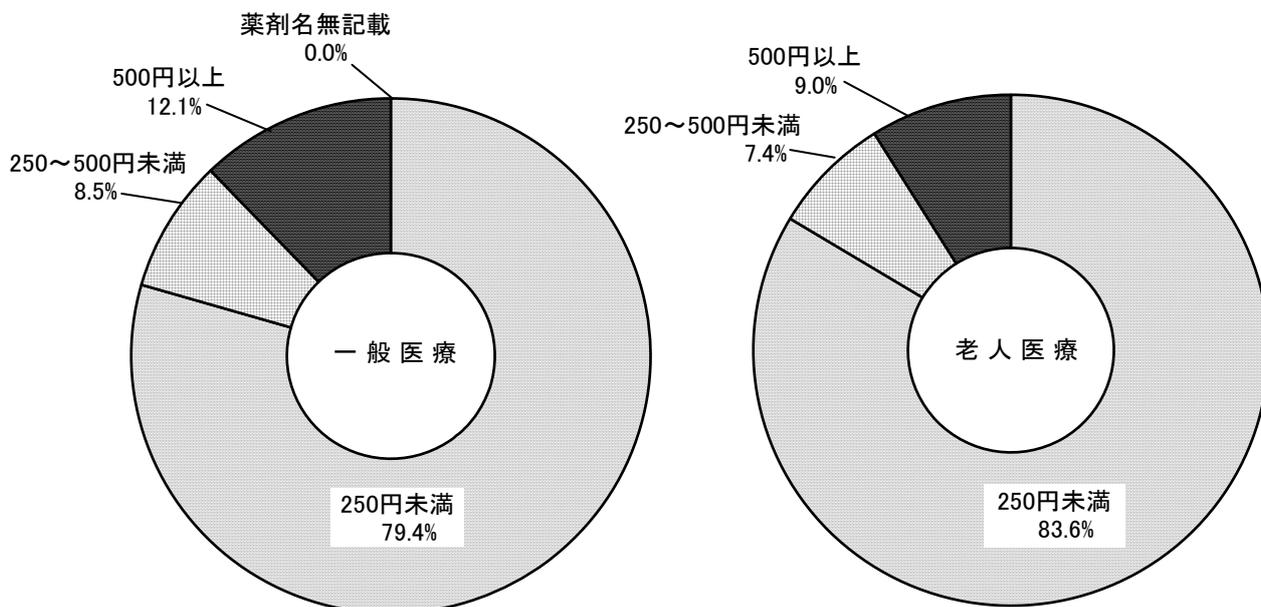
	総数	250円未満						250～500	500円以上	薬剤名無記載	薬剤点数に占める後発医薬品の点数の割合(再掲)	
		総数	50円未満	50～100円未満	100～150	150～200	200～250					
総数	100.0 (100.0)	81.1 (82.5)	30.1 (31.5)	24.2 (23.3)	11.0 (10.4)	10.4 (11.5)	5.4 (5.8)	8.0 (7.0)	10.9 (10.4)	0.0 (0.1)	4.5 (4.9)	
一般医療	100.0 (100.0)	79.4 (79.9)	28.6 (29.3)	24.3 (23.0)	11.0 (10.0)	10.3 (11.9)	5.2 (5.7)	8.5 (8.3)	12.1 (11.7)	0.0 (0.1)	4.2 (4.6)	
老人医療	100.0 (100.0)	83.6 (86.1)	32.3 (34.6)	24.0 (23.7)	11.1 (10.8)	10.5 (11.0)	5.7 (6.0)	7.4 (5.2)	9.0 (8.7)	- (0.1)	5.1 (5.3)	
年齢階級	0～14歳	100.0	74.1	24.5	23.1	19.9	6.1	0.6	16.1	9.7	-	6.2
	15～39歳	100.0	76.6	31.7	21.9	11.0	6.1	5.8	8.6	14.8	0.0	3.9
	40～69歳	100.0	79.9	28.2	24.9	9.8	11.5	5.5	7.7	12.4	0.0	4.0
	70～79歳	100.0	84.0	31.3	24.5	11.1	11.3	5.8	7.2	8.8	-	4.8
	80歳以上	100.0	84.3	34.3	23.3	11.4	9.7	5.6	7.3	8.4	-	5.5

注:1) 「総数」、「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。

2) ()内は平成15年6月審査分

図15 一般医療 - 老人医療別にみた薬価階級別薬剤点数の構成割合 (薬局調剤)

(平成16年6月審査分)



8 薬剤種類数の状況

薬剤種類数別件数の構成割合は、一般医療、老人医療とも「1～2種類」が最も多く、それぞれ42.0%、32.9%となっている。次いで一般医療では「3～4種類」、「5～6種類」、「7種類以上」の順となっており、老人医療では「3～4種類」、「7種類以上」、「5～6種類」の順となっている。

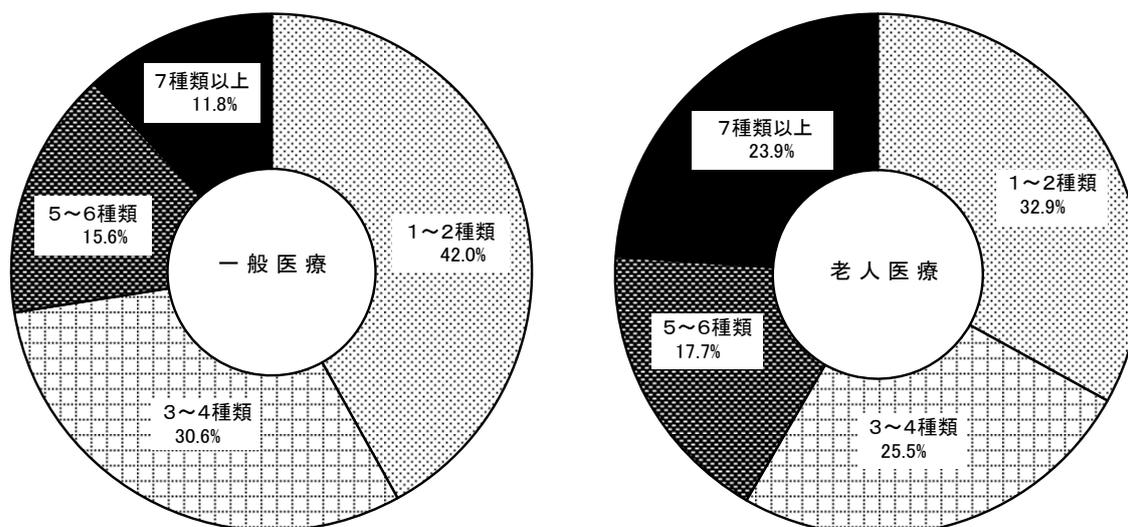
1件当たり薬剤種類数をみると、一般医療3.56、老人医療4.59となっている。(表21、図16)

表21 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた薬剤種類数別件数の構成割合、1件当たり薬剤種類数(薬局調剤)

(単位:%)		(平成16年6月審査分)											1件当たり薬剤種類数	
		総数	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類	6種類	7種類	8種類	9種類	10種類以上	1件当たり薬剤種類数に占める後発医薬品の種類数(再掲)	
総数		100.0 (100.0)	19.4 (19.3)	20.1 (19.7)	16.5 (16.4)	12.6 (13.2)	9.4 (9.4)	6.8 (6.8)	4.9 (4.8)	3.3 (3.5)	2.2 (2.2)	4.8 (4.7)	3.86 (3.87)	0.57 (0.59)
一般医療		100.0 (100.0)	20.8 (20.9)	21.2 (20.6)	17.5 (17.2)	13.1 (13.8)	9.3 (9.3)	6.3 (6.3)	4.3 (4.2)	2.7 (2.9)	1.6 (1.7)	3.2 (3.1)	3.56 (3.57)	0.51 (0.52)
老人医療		100.0 (100.0)	15.6 (15.6)	17.3 (17.6)	14.0 (14.5)	11.5 (11.7)	9.7 (9.5)	7.9 (8.0)	6.4 (6.3)	4.9 (4.9)	3.7 (3.5)	8.8 (8.4)	4.59 (4.53)	0.75 (0.73)
年齢階級	0～14歳	100.0	16.8	16.6	15.4	13.7	12.3	9.0	6.7	3.8	2.1	3.5	4.03	0.66
	15～39歳	100.0	21.9	22.2	18.9	14.0	9.1	5.4	3.1	2.1	1.4	2.0	3.31	0.45
	40～69歳	100.0	22.0	22.5	17.8	12.5	8.2	5.6	4.0	2.5	1.5	3.5	3.49	0.47
	70～79歳	100.0	17.0	18.6	15.0	11.7	9.6	7.7	5.8	4.2	3.2	7.3	4.31	0.68
	80歳以上	100.0	14.2	16.0	12.8	11.6	9.8	8.3	7.2	5.8	4.2	10.1	4.85	0.83

注: 1) 薬剤名無記載は、1種類としている。
 2) 「総数」、「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。
 3) ()内は平成15年6月審査分

図16 一般医療 - 老人医療別にみた薬剤種類数別件数の構成割合(薬局調剤)
(平成16年6月審査分)



9 薬効分類別にみた薬剤使用の状況

一般医療、老人医療別にみると薬効分類別薬剤点数の構成割合は、一般医療、老人医療とも「循環器官用薬」が最も多く、それぞれ23.0%、29.0%となっている。(表22)

「循環器官用薬」を年齢階級別にみると、「40～69歳」が48.4%、「70～79歳」が33.4%となっている。(表23)

表22 一般医療 - 老人医療別にみた薬効分類別薬剤点数の構成割合（薬局調剤）

(単位：%) (平成16年6月審査分)

	総数	一般医療	老人医療	後発医薬品 (再掲)
総数	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	100.0
中枢神経系用薬	10.1 (9.2)	10.4 (9.5)	9.5 (8.7)	5.3
感覚器官用薬	4.4 (5.1)	4.0 (4.6)	5.2 (5.8)	9.4
循環器官用薬	25.4 (27.1)	23.0 (24.7)	29.0 (30.4)	13.6
呼吸器官用薬	3.5 (3.5)	4.2 (4.3)	2.3 (2.4)	6.5
消化器官用薬	9.7 (10.0)	8.8 (9.1)	11.0 (11.2)	13.6
ホルモン剤	2.5 (2.4)	3.1 (2.8)	1.7 (1.8)	1.2
外皮用薬	4.7 (4.7)	4.4 (4.3)	5.1 (5.3)	6.4
滋養強壯薬	1.3 (1.1)	1.1 (0.9)	1.7 (1.3)	0.6
血液・体液用薬	4.8 (4.6)	3.7 (3.3)	6.4 (6.5)	6.6
その他の代謝性医薬品	7.7 (6.9)	8.1 (7.2)	7.0 (6.4)	5.8
腫瘍用薬	4.7 (4.2)	4.7 (4.7)	4.8 (3.5)	1.2
アレルギー用薬	5.5 (5.5)	7.2 (7.2)	3.0 (3.2)	2.9
抗生物質製剤	3.7 (3.9)	5.4 (5.9)	1.0 (1.3)	0.8
化学療法剤	3.7 (3.5)	4.9 (4.6)	1.9 (1.9)	2.2
生物学的製剤	0.0 (0.1)	0.1 (0.1)	- (0.0)	-
その他の薬効	8.2 (8.2)	6.7 (6.9)	10.3 (10.1)	24.0

- 注：1) 「総数」には、薬剤名無記載を含む。
 2) ()内は平成15年6月審査分
 3) 「血液・体液用薬」は、生理食塩液等を指す。
 4) 「生物学的製剤」は、血液製剤等を指す。
 5) 「その他の薬効」には、上記分類以外の「ビタミン剤」、「泌尿生殖器官及び肛門用薬」等の分類を含んでいる。

表23 主な薬効分類別にみた年齢階級別薬剤点数の構成割合（薬局調剤）

(単位：%) (平成16年6月審査分)

	年齢階級						後発医薬品 (再掲)
	総数	0～14歳	15～39歳	40～69歳	70～79歳	80歳以上	
中枢神経系用薬	100.0	1.2	19.2	39.7	25.7	14.2	2.4
感覚器官用薬	100.0	5.9	9.4	34.6	31.5	18.6	9.6
循環器官用薬	100.0	0.0	1.7	48.4	33.4	16.4	2.4
呼吸器官用薬	100.0	32.3	13.3	25.8	19.1	9.5	8.5
消化器官用薬	100.0	0.9	8.2	41.6	32.0	17.3	6.4
ホルモン剤	100.0	11.5	15.2	42.5	22.7	8.0	2.1
外皮用薬	100.0	4.7	13.5	34.6	30.6	16.6	6.2
滋養強壯薬	100.0	2.2	13.1	34.7	29.3	20.8	2.1
血液・体液用薬	100.0	3.2	3.7	36.0	37.6	19.5	6.3
その他の代謝性医薬品	100.0	1.1	7.0	51.6	29.9	10.4	3.4
腫瘍用薬	100.0	0.0	1.2	55.6	29.6	13.6	1.1
アレルギー用薬	100.0	20.2	21.6	34.4	16.8	7.0	2.4
抗生物質製剤	100.0	41.7	21.9	24.0	8.3	4.1	1.0
化学療法剤	100.0	4.7	23.7	49.5	15.2	7.0	2.6

- 注：1) 「総数」には、年齢不詳を含む。
 2) 「血液・体液用薬」は、生理食塩液等を指す。

統 計 表

(医科診療)

第1表 件数・診療実日数、入院 - 入院外・一般医療 - 老人医療別

(単位:千)

(平成16年6月審査分)

	総 数		入 院		入 院 外	
	件 数	診療実日数	件 数	診療実日数	件 数	診療実日数
総 数	67 770	156 660	2 016	33 359	65 755	123 301
一 般 医 療	48 226	97 219	1 064	15 331	47 163	81 888
老 人 医 療	19 544	59 441	952	18 028	18 592	41 413

第2表 診療行為別点数、入院 - 入院外・一般医療 - 老人医療別

(単位:千)

(平成16年6月審査分)

診 療 行 為	総 数	入 院		入 院 外
		総 数	総 数	
総初指在検査投注リハビリテ一シヨ 導宅管再理 像診 射院線治 断群分類による包括評価等	156 221 154	72 298 514	83 922 640	
・	15 731 020	98 769	15 632 251	
・	8 966 831	626 909	8 339 923	
・	3 814 713	112 437	3 702 276	
・	16 937 537	3 608 694	13 328 842	
・	7 418 810	2 068 025	5 350 786	
・	20 592 131	1 634 791	18 957 340	
・	8 813 909	4 577 107	4 236 802	
・	2 499 405	1 763 720	735 685	
・	2 025 792	375 269	1 650 524	
・	11 921 273	2 204 391	9 716 881	
・	9 900 687	8 256 954	1 643 733	
・	1 611 399	1 205 685	405 713	
・	392 262	178 104	214 158	
・	42 433 320	42 425 463	7 857	
・	3 161 901	3 161 901	.	
一 般 医 療	89 003 582	34 965 367	54 038 215	
・	11 468 435	61 815	11 406 620	
・	5 639 533	334 034	5 305 499	
・	1 672 097	42 142	1 629 955	
・	11 054 229	1 824 736	9 229 493	
・	4 658 050	1 006 299	3 651 751	
・	12 417 873	874 384	11 543 488	
・	4 613 107	2 185 089	2 428 018	
・	1 106 724	692 307	414 417	
・	1 655 869	287 921	1 367 947	
・	6 340 108	712 808	5 627 300	
・	5 537 186	4 459 260	1 077 926	
・	981 345	797 839	183 505	
・	279 838	111 164	168 674	
・	19 388 525	19 385 131	3 394	
・	2 190 209	2 190 209	.	
老 人 医 療	67 217 572	37 333 147	29 884 425	
・	4 262 585	36 954	4 225 631	
・	3 327 298	292 874	3 034 424	
・	2 142 616	70 295	2 072 320	
・	5 883 307	1 783 958	4 099 349	
・	2 760 760	1 061 725	1 699 035	
・	8 174 258	760 406	7 413 851	
・	4 200 803	2 392 018	1 808 785	
・	1 392 681	1 071 413	321 268	
・	369 924	87 348	282 576	
・	5 581 165	1 491 584	4 089 581	
・	4 363 501	3 797 694	565 807	
・	630 054	407 846	222 208	
・	112 424	66 940	45 483	
・	23 044 795	23 040 332	4 463	
・	971 692	971 692	.	
入院時食事療養(単位:千円)				
総	67 343 925	67 343 925	.	
一 般 医 療	30 852 017	30 852 017	.	
老 人 医 療	36 491 909	36 491 909	.	

注:入院時食事療養は、「総数」には含まない。

第3表 入院の件数・診療実日数、病院 - 診療所（有床）・一般医療 - 老人医療別
 (単位:千) (平成16年6月審査分)

	病 院						診療所 (有床)
	総 数	精 神 病 院	結 核 療 養 所	特 定 機 能 病 院	療 養 病 床 を 有 する 病 院	一 般 病 院	
件 数							
総 数	1 873	191	0.0	98	592	993	142
一 般 医 療	988	137	0.0	71	208	572	75
老 人 医 療	885	54	0.0	27	383	421	67
診 療 実 日 数							
総 数	31 565	5 568	1	1 297	11 803	12 897	1 794
一 般 医 療	14 717	3 967	0.2	912	3 350	6 488	615
老 人 医 療	16 848	1 601	0.5	385	8 452	6 410	1 179

第4表 入院の診療行為別点数、病院 - 診療所（有床）・一般医療 - 老人医療別
 (単位:千) (平成16年6月審査分)

診 療 行 為	病 院						診 療 所 (有床)
	総 数	精 神 病 院	結 核 療 養 所	特 定 機 能 病 院	療 養 病 床 を 有 する 病 院	一 般 病 院	
	総 数						
総 数	70 037 328	5 899 938	927	5 030 930	22 380 891	36 724 643	2 261 186
初 診	94 837	731	2	4 950	26 402	62 753	3 932
再 診	609 872	25 101	9	29 724	181 214	373 824	17 037
指 導 管 理 等	107 520	7	-	7 610	25 862	74 040	4 917
在 宅 医 療	3 457 013	75 665	78	104 208	764 141	2 512 922	151 681
検 査	2 018 956	11 406	34	42 597	521 692	1 443 227	49 069
画 像 診 断	1 558 165	242 191	48	59 716	340 981	915 229	76 626
投 薬	4 400 443	32 105	8	141 710	1 117 875	3 108 744	176 664
注 射	1 731 662	3 852	-	32 062	1 073 286	622 462	32 058
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	374 508	256 417	-	3 988	63 443	50 660	760
精 神 科 専 門 療 法	2 056 349	42 627	13	45 771	699 292	1 268 646	148 042
処 置	7 813 472	647	56	865 380	1 210 676	5 736 713	443 482
手 術	1 163 044	437	-	165 360	166 793	830 455	42 641
麻 酔	178 101	-	-	46 478	21 611	110 012	4
放 射 線 治 療	41 311 337	5 208 746	679	549 945	16 161 663	19 390 304	1 114 126
入 院 料 等	3 161 901	-	-	2 931 602	5 870	224 430	-
診 断 群 分 類 に よ る 包 括 評 価 等							
	一 般 医 療						
総 数	34 018 513	4 215 700	328	3 552 509	7 103 660	19 146 316	946 854
初 診	59 040	630	-	3 830	14 138	40 442	2 775
再 診	322 046	20 523	3	20 537	71 403	209 580	11 988
指 導 管 理 等	40 900	7	-	4 889	7 355	28 650	1 242
在 宅 医 療	1 749 543	55 258	32	71 621	288 698	1 333 934	75 193
検 査	988 106	6 119	17	30 339	204 990	746 642	18 193
画 像 診 断	846 877	195 997	19	42 758	128 325	479 777	27 508
投 薬	2 109 766	15 976	1	113 321	363 556	1 616 913	75 323
注 射	681 850	2 386	-	19 252	403 904	256 308	10 458
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	287 326	199 347	-	3 534	50 180	34 266	595
精 神 科 専 門 療 法	672 480	16 817	7	28 252	187 506	439 898	40 328
処 置	4 194 633	37	-	599 873	520 486	3 074 238	264 627
手 術	767 069	381	-	123 195	102 998	540 496	30 770
麻 酔	111 162	-	-	29 397	17 510	64 254	2
放 射 線 治 療	18 997 369	3 702 217	249	401 650	4 739 873	10 153 380	387 762
入 院 料 等	2 190 209	-	-	2 060 063	2 726	127 421	-
診 断 群 分 類 に よ る 包 括 評 価 等							
	老 人 医 療						
総 数	36 018 815	1 684 238	599	1 478 421	15 277 231	17 578 327	1 314 332
初 診	35 797	101	2	1 120	12 264	22 311	1 156
再 診	287 826	4 578	6	9 187	109 811	164 244	5 049
指 導 管 理 等	66 620	1	-	2 721	18 507	45 390	3 675
在 宅 医 療	1 707 470	20 407	45	32 586	475 443	1 178 988	76 488
検 査	1 030 850	5 287	16	12 258	316 702	696 586	30 876
画 像 診 断	711 288	46 194	28	16 958	212 656	435 452	49 119
投 薬	2 290 677	16 130	8	28 390	754 319	1 491 831	101 341
注 射	1 049 812	1 466	-	12 810	669 382	366 155	21 601
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	87 182	57 070	-	454	13 264	16 394	165
精 神 科 専 門 療 法	1 383 869	25 811	7	17 519	511 786	828 748	107 714
処 置	3 618 839	610	56	265 507	690 190	2 662 475	178 854
手 術	395 975	56	-	42 165	63 795	289 959	11 871
麻 酔	66 939	-	-	17 081	4 100	45 758	2
放 射 線 治 療	22 313 968	1 506 529	431	148 295	11 421 790	9 236 923	726 364
入 院 料 等	971 692	-	-	871 539	3 144	97 010	-
診 断 群 分 類 に よ る 包 括 評 価 等							
入院時食事療養(単位:千円)							
総 数	64 422 298	11 890 387	1 470	2 474 066	24 943 783	25 112 594	2 921 627
一 般 医 療	29 894 173	8 440 702	454	1 746 402	7 060 783	12 645 832	957 844
老 人 医 療	34 528 126	3 449 684	1 016	727 664	17 883 000	12 466 762	1 963 783

注:入院時食事療養は、「総数」には含まない。

第5表 入院外の件数・診療実日数、病院 - 診療所・一般医療 - 老人医療別

(単位:千)

(平成16年6月審査分)

	病 院						診療所
	総 数	精 神 病 院	結 核 療 養 所	特 定 機 能 病 院	療 養 病 床 を 有 する 病 院	一 般 病 院	
件 数							
総 数	22 305	548	0.1	1 493	6 238	14 025	43 450
一般医療	15 128	450	0.0	1 134	3 936	9 608	32 034
老人医療	7 176	98	0.0	359	2 302	4 417	11 415
診療実日数							
総 数	36 769	1 147	0.1	1 991	11 688	21 943	86 532
一般医療	23 985	948	0.1	1 508	6 837	14 692	57 903
老人医療	12 784	199	0.0	483	4 851	7 251	28 628

第6表 入院外の診療行為別点数、病院 - 診療所・一般医療 - 老人医療別

(単位:千)

(平成16年6月審査分)

診 療 行 為	病 院						診療所
	総 数	精 神 病 院	結 核 療 養 所	特 定 機 能 病 院	療 養 病 床 を 有 する 病 院	一 般 病 院	
	総 数						
総 数	32 961 841	899 088	142	2 227 178	8 595 978	21 239 456	50 960 799
初 再 診	3 989 414	87 418	14	188 228	1 263 009	2 450 746	11 642 837
指 導 管 理 等	1 559 520	19 991	5	67 005	504 996	967 523	6 780 403
在 宅 医 療	1 833 205	3 825	9	164 754	438 112	1 226 505	1 869 071
検 査	6 384 381	30 306	26	568 737	1 419 886	4 365 426	6 944 462
画 像 診 断	4 038 624	6 997	16	366 221	897 614	2 767 776	1 312 161
投 薬	7 077 438	309 659	72	463 367	1 869 043	4 435 297	11 879 902
注 射	2 240 870	7 301	1	205 735	470 139	1 557 693	1 995 932
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	363 192	622	-	7 512	165 892	189 166	372 493
精 神 科 専 門 療 法	813 473	432 397	-	33 745	164 380	182 952	837 051
処 置	3 586 373	387	-	50 913	1 170 175	2 364 899	6 130 508
手 術	767 618	2	-	75 212	182 543	509 860	876 115
麻 酔	88 463	166	-	7 648	34 975	45 675	317 250
放 射 線 治 療	214 156	-	-	28 094	15 217	170 844	2
入 院 料 等	5 090	-	-	-	-	5 090	2 766
	一 般 医 療						
総 数	21 189 693	739 797	94	1 669 850	4 924 165	13 855 786	32 848 522
初 再 診	2 897 256	73 101	11	150 269	850 860	1 823 015	8 509 364
指 導 管 理 等	991 221	14 615	3	49 788	288 760	638 055	4 314 278
在 宅 医 療	996 656	2 263	6	123 484	187 055	683 848	633 299
検 査	4 433 266	24 325	15	437 748	905 620	3 065 557	4 796 227
画 像 診 断	2 728 852	3 662	7	274 813	582 793	1 867 578	922 899
投 薬	4 176 860	261 682	50	341 432	956 853	2 616 843	7 366 628
注 射	1 321 027	6 355	1	149 962	234 636	930 073	1 106 991
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	226 299	520	-	5 568	91 496	128 715	188 117
精 神 科 専 門 療 法	656 422	352 915	-	29 844	129 438	144 225	711 526
処 置	2 004 048	208	-	26 859	547 724	1 429 258	3 623 252
手 術	537 729	1	-	58 119	117 828	361 781	540 197
麻 酔	47 969	135	-	5 334	15 917	26 583	135 536
放 射 線 治 療	168 673	-	-	16 625	15 185	136 863	1
入 院 料 等	3 394	-	-	-	-	3 394	-
	老 人 医 療						
総 数	11 772 148	159 290	48	557 328	3 671 812	7 383 670	18 112 277
初 再 診	1 092 158	14 317	3	37 959	412 148	627 731	3 133 473
指 導 管 理 等	568 299	5 376	2	17 217	216 236	329 467	2 466 125
在 宅 医 療	836 549	1 563	3	41 270	251 056	542 658	1 235 772
検 査	1 951 115	5 981	10	130 989	514 266	1 299 869	2 148 234
画 像 診 断	1 309 772	3 335	8	91 409	314 822	900 199	389 263
投 薬	2 900 578	47 976	22	121 935	912 190	1 818 454	4 513 273
注 射	919 843	946	-	55 773	235 504	627 620	888 942
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	136 892	102	-	1 944	74 396	60 450	184 376
精 神 科 専 門 療 法	157 051	79 482	-	3 901	34 941	38 727	125 525
処 置	1 582 325	179	-	24 054	622 451	935 642	2 507 256
手 術	229 889	1	-	17 093	64 715	148 079	335 918
麻 酔	40 494	30	-	2 314	19 058	19 092	181 714
放 射 線 治 療	45 483	-	-	11 469	33	33 981	0
入 院 料 等	1 697	-	-	-	-	1 697	2 766

第7表 入院の診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数の年次推移

(各年6月審査分)

診療行為	1件当たり点数					1日当たり点数				
	平成12年 (2000)	13 (2001)	14 (2002)	15 (2003)	16 (2004)	平成12年 (2000)	13 (2001)	14 (2002)	15 (2003)	16 (2004)
総数	33 608.3	34 414.9	33 554.6	34 538.5	35 866.7	2 018.3	2 064.1	2 097.2	2 178.2	2 167.3
初・再診	48.8	51.7	55.0	54.3	49.0	2.9	3.1	3.4	3.4	3.0
指導管理等	306.4	301.9	322.1	343.8	311.0	18.4	18.1	20.1	21.7	18.8
在宅医療	56.9	53.2	49.3	59.8	55.8	3.4	3.2	3.1	3.8	3.4
検査	2 097.9	2 073.9	2 019.9	2 109.7	1 790.2	126.0	124.4	126.2	133.1	108.2
画像診断	1 141.7	1 185.9	1 192.5	1 212.2	1 025.9	68.6	71.1	74.5	76.5	62.0
投薬	875.0	848.3	896.7	896.6	811.0	52.5	50.9	56.0	56.5	49.0
注射	2 583.7	2 497.0	2 478.0	2 508.7	2 270.7	155.2	149.8	154.9	158.2	137.2
リハビリテーション	641.6	745.8	573.7	710.6	875.0	38.5	44.7	35.9	44.8	52.9
精神科専門療法	136.3	155.5	162.3	167.3	186.2	8.2	9.3	10.1	10.6	11.2
処置	1 019.8	1 010.3	1 031.6	967.3	1 093.6	61.2	60.6	64.5	61.0	66.1
手術	3 942.7	4 060.7	3 725.4	3 899.7	4 096.2	236.8	243.5	232.8	245.9	247.5
麻酔	601.1	630.5	576.0	620.3	598.1	36.1	37.8	36.0	39.1	36.1
放射線治療	85.4	117.5	151.6	144.4	88.4	5.1	7.0	9.5	9.1	5.3
入院料等	20 071.5	20 682.5	20 320.3	20 542.7	21 047.0	1 205.4	1 240.5	1 270.1	1 295.5	1 271.8
診断群分類 による包括評価等	.	.	.	300.8	1 568.6	.	.	.	19.0	94.8
入院時食事療養 (単位:円)	33 321	33 619	32 243	31 953	33 409	2 001	2 016	2 015	2 015	2 019

注:入院時食事療養は、「総数」には含まない。

第8表 入院外の診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数の年次推移

(各年6月審査分)

診療行為	1件当たり点数					1日当たり点数				
	平成12年 (2000)	13 (2001)	14 (2002)	15 (2003)	16 (2004)	平成12年 (2000)	13 (2001)	14 (2002)	15 (2003)	16 (2004)
総数	1 333.5	1 326.0	1 266.2	1 251.8	1 276.3	622.0	633.8	629.5	635.1	680.6
初・再診	261.4	257.5	240.5	238.4	237.7	121.9	123.1	119.6	121.0	126.8
指導管理等	150.5	159.0	161.7	125.1	126.8	70.2	76.0	80.4	63.4	67.6
在宅医療	60.6	58.9	64.3	59.9	56.3	28.2	28.2	32.0	30.4	30.0
検査	196.0	200.1	195.4	201.1	202.7	91.4	95.6	97.1	102.0	108.1
画像診断	78.8	83.1	86.7	84.2	81.4	36.7	39.7	43.1	42.7	43.4
投薬	346.5	334.1	295.2	302.3	288.3	161.6	159.7	146.8	153.4	153.7
注射	56.8	60.0	57.5	68.6	64.4	26.5	28.7	28.6	34.8	34.4
リハビリテーション	14.7	14.4	10.6	10.4	11.2	6.8	6.9	5.3	5.3	6.0
精神科専門療法	15.7	18.1	18.4	19.4	25.1	7.3	8.6	9.1	9.8	13.4
処置	113.1	95.7	102.1	112.3	147.8	52.8	45.8	50.8	57.0	78.8
手術	32.0	37.6	27.7	23.4	25.0	14.9	18.0	13.8	11.9	13.3
麻酔	5.4	4.3	4.5	4.5	6.2	2.5	2.1	2.2	2.3	3.3
放射線治療	2.2	3.2	1.5	1.9	3.3	1.0	1.5	0.7	1.0	1.7

注:「総数」には「入院料等(短期滞在手術基本料1)」を含む。

第9表 入院 - 入院外・一般医療 - 老人医療別にみた傷病分類別1件当たり点数

(平成16年6月審査分)

傷病分類	入院		入院外	
	一般医療	老人医療	一般医療	老人医療
総数	32 876.9	39 206.0	1 145.8	1 607.4
I 感染症及び寄生虫症	22 410.5	35 083.0	1 044.9	1 364.0
II 新生物	42 649.2	41 458.0	2 400.0	2 809.4
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	44 153.7	38 679.1	3 345.9	2 963.4
乳房の悪性新生物 (再掲)	38 709.6	41 519.2	3 753.9	2 463.4
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	35 947.5	45 309.0	1 181.0	1 389.1
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	29 482.6	35 374.7	1 355.0	1 638.8
糖尿病 (再掲)	30 050.7	36 978.4	1 523.1	1 831.2
V 精神及び行動の障害	31 045.4	32 230.8	1 255.0	1 375.5
精神分裂病、分裂病型障害及び妄想性障害 (再掲)	31 194.9	30 621.9	1 825.4	1 283.7
VI 神経系の疾患	39 219.8	42 158.1	1 153.3	1 455.7
VII 眼及び付属器の疾患	29 901.1	29 241.1	684.8	773.0
白内障 (再掲)	26 853.8	27 912.7	752.4	754.6
VIII 耳及び乳様突起の疾患	27 002.5	26 952.6	838.5	983.1
IX 循環器系の疾患	48 890.9	42 589.2	1 160.2	1 431.8
高血圧性疾患 (再掲)	25 119.7	30 574.2	1 070.2	1 383.6
虚血性心疾患 (再掲)	53 247.9	44 588.7	1 465.1	1 631.6
脳梗塞 (再掲)	43 611.3	41 420.5	1 235.2	1 436.0
X 呼吸器系の疾患	20 980.5	37 581.3	784.4	1 681.2
肺炎 (再掲)	21 507.7	36 162.1	1 516.9	1 743.6
急性気管支炎及び急性細気管支炎 (再掲)	13 707.4	26 028.7	759.4	1 131.5
喘息 (再掲)	16 728.9	40 144.5	993.7	1 969.1
X I 消化器系の疾患	27 718.9	34 978.2	1 259.4	1 395.5
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	23 723.9	28 162.9	564.6	657.9
皮膚炎及び湿疹 (再掲)	26 875.1	19 799.0	519.8	538.4
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	35 169.0	36 955.7	1 032.1	1 335.8
関節症 (再掲)	47 936.5	48 186.5	1 124.7	1 394.0
X IV 尿路性器系の疾患	32 242.8	47 650.7	3 985.6	7 914.9
腎不全 (再掲)	54 398.5	56 718.7	29 771.1	29 184.8
尿路結石症 (再掲)	21 805.6	25 125.1	2 257.1	1 612.2
X V 妊娠、分娩及び産じょく	14 813.2	-	1 008.2	-
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	31 006.9	41 011.8	1 114.8	1 434.6
骨折 (再掲)	34 575.0	42 131.4	1 503.8	1 537.9
その他の傷病	24 872.0	29 875.4	956.5	1 134.1

注: 1) 傷病分類は、「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」(ICD-10)を準用した。

2) 「その他の傷病」は、「周産期に発生した病態」「先天奇形、変形及び染色体異常」及び「症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」である。

(歯科診療)

第10表 歯科の件数・診療実日数、一般医療 - 老人医療別

(単位:千) (平成16年6月審査分)

	総 数	一 般 医 療	老 人 医 療
件 数	12 637	10 845	1 792
診 療 実 日 数	28 651	24 096	4 555

第11表 歯科の診療行為別点数、一般医療 - 老人医療別

(単位:千) (平成16年6月審査分)

診 療 行 為	総 数	一 般 医 療	老 人 医 療
総 数	17 707 237	14 467 005	3 240 232
初 診	2 425 509	2 060 893	364 616
指 導 管 理 等	1 450 308	1 229 630	220 678
在 宅 医 療	169 510	23 896	145 614
検 査	957 898	845 790	112 108
画 像 診 断	627 860	556 955	70 904
投 薬	336 198	283 544	52 653
注 射	15 973	11 445	4 528
リハビリテーション	2 156	1 823	334
処 置	2 725 973	2 416 072	309 901
手 術	673 293	575 274	98 020
麻 酔	42 822	39 017	3 805
放 射 線 治 療	2 830	1 798	1 032
歯冠修復及び欠損補綴	8 167 062	6 339 621	1 827 441
歯 科 矯 正	22 547	22 547	-
入 院 料 等	87 433	58 807	28 625
入院時食事療養(単位:千円)	102 731	65 990	36 741

注:入院時食事療養は、「総数」には含まない。

第12表 歯科の診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数の年次推移

(各年6月審査分)

診 療 行 為	1 件 当 たり 点 数					1 日 当 たり 点 数				
	平成12年 (2000)	13 (2001)	14 (2002)	15 (2003)	16 (2004)	平成12年 (2000)	13 (2001)	14 (2002)	15 (2003)	16 (2004)
総 数	1 474.6	1 480.0	1 384.9	1 452.6	1 401.2	594.6	615.0	593.4	595.6	618.0
初 診	171.7	170.1	179.6	188.2	191.9	69.2	70.7	77.0	77.2	84.7
指 導 管 理 等	103.8	104.4	101.6	105.1	114.8	41.8	43.4	43.5	43.1	50.6
在 宅 医 療	5.1	6.2	7.4	17.0	13.4	2.1	2.6	3.2	7.0	5.9
検 査	74.6	69.8	75.2	76.5	75.8	30.1	29.0	32.2	31.4	33.4
画 像 診 断	49.5	46.6	49.2	47.9	49.7	20.0	19.3	21.1	19.6	21.9
投 薬	27.4	27.4	23.7	25.8	26.6	11.1	11.4	10.1	10.6	11.7
注 射	1.6	1.3	1.2	1.5	1.3	0.7	0.5	0.5	0.6	0.6
リハビリテーション	0.4	0.2	0.4	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1
処 置	224.8	221.6	213.3	226.6	215.7	90.6	92.1	91.4	92.9	95.1
手 術	58.7	55.6	52.7	54.9	53.3	23.7	23.1	22.6	22.5	23.5
麻 酔	4.9	3.7	3.4	4.0	3.4	2.0	1.5	1.4	1.6	1.5
放 射 線 治 療	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
歯冠修復及び欠損補綴	739.0	764.6	667.7	693.9	646.3	298.0	317.7	286.1	284.5	285.1
歯 科 矯 正	2.0	1.1	0.5	0.4	1.8	0.8	0.5	0.2	0.2	0.8
入 院 料 等	11.0	7.2	9.1	10.5	6.9	4.4	3.0	3.9	4.3	3.1

第13表 一般医療 - 老人医療別にみた傷病分類別1件当たり点数

(平成16年6月審査分)

傷病分類	一般医療	老人医療
総数	1 334.0	1 808.0
むしば	1 240.2	2 055.5
歯髄炎等	1 745.2	2 097.2
歯根膜炎等	1 491.2	1 913.4
歯周炎等	1 039.7	1 282.5
顎の疾患・口内炎等	1 721.6	1 898.9
歯の補綴	2 278.6	2 214.2
その他の傷病	947.8	790.5

注: 1) 傷病分類は、「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回改正」(ICD-10)を準用した。

2) 「その他の傷病」は、「歯肉炎等」「その他の歯の疾患」「智歯周囲炎等」「褥瘡性潰瘍等」である。

(薬剤料の比率)

第14-1表 一般医療 - 老人医療、病院 - 診療所、医科 (入院 - 入院外) - 歯科 - 薬局 調剤別薬剤料の比率

(単位:%) (平成16年6月審査分)

		総数			一般医療			老人医療			
		総数	病院	診療所	総数	病院	診療所	総数	病院	診療所	
医科	総数	総数									
		薬剤料	21.6 (22.2)	18.2 (19.7)	29.4 (28.8)	21.5 (21.8)	18.3 (19.8)	28.0 (26.5)	21.7 (22.7)	18.1 (19.6)	31.7 (32.5)
		投薬・注射	19.2	15.5	27.6	19.0	15.4	26.2	19.4	15.6	30.0
		投薬	13.7	9.1	24.5	13.9	9.4	23.1	13.5	8.6	26.9
		注射	5.4	6.4	3.1	5.1	6.0	3.2	5.9	7.0	3.0
	その他の薬剤料	2.5	2.8	1.7	2.6	3.0	1.8	2.3	2.5	1.7	
	入院	入院									
		薬剤料	11.3 (12.0)	11.3 (12.0)	12.4 (13.0)	10.9 (11.4)	10.9 (11.5)	10.2 (10.7)	11.7 (12.6)	11.6 (12.6)	14.2 (14.9)
		投薬・注射	9.4	9.3	9.8	9.0	9.1	8.3	9.7	9.6	11.2
		投薬	2.5	2.5	3.1	2.6	2.6	2.4	2.3	2.3	3.7
		注射	6.9	6.9	6.7	6.4	6.4	5.8	7.4	7.4	7.4
	その他の薬剤料	2.0	1.9	2.5	1.9	1.9	2.0	2.0	2.0	3.0	
	入院外	入院外									
		薬剤料	33.2 (34.5)	37.3 (40.5)	30.6 (30.0)	31.0 (32.0)	34.2 (38.2)	28.9 (27.4)	37.3 (38.7)	43.3 (44.4)	33.5 (34.4)
		投薬・注射	30.2	32.2	28.9	27.8	28.9	27.2	34.6	38.8	32.0
投薬		26.4	27.1	26.0	24.0	23.9	24.1	30.9	33.3	29.4	
注射		3.8	5.1	2.9	3.8	5.0	3.1	3.7	5.4	2.6	
その他の薬剤料	3.0	5.0	1.7	3.2	5.3	1.8	2.7	4.6	1.6		
歯科	薬剤料	1.0	5.8	0.9	1.0	5.7	0.9	1.0	6.2	0.7	
薬局調剤	薬剤料	70.9	-	-	69.4	-	-	73.3	-	-	

注:1) 「処方せん料」を算定している明細書、「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCIに係る明細書は除外してある。
 2) 「薬剤料」とは、総点数に占める、「投薬」「注射」及びその他の診療行為の中の薬剤料点数の割合である。
 3) 「その他の薬剤料」とは、総点数に占める、「在宅医療」「検査」「画像診断」「リハビリテーション」「精神科専門療法」「処置」「手術」及び「麻酔」の中で使用された薬剤料点数の割合である。
 4) 入院時食事療養は、費用額算定を点数換算(入院時食事療養÷10)して総点数に含めている。
 5) ()内は平成15年6月審査分

第14-2表 一般医療 - 老人医療、病院 - 診療所、医科・調剤 [医科分] (入院 - 入院外) - 歯科・調剤 [歯科分] 別薬剤料の比率

(単位:%) (平成16年6月審査分)

		総数			一般医療			老人医療			
		総数	病院	診療所	総数	病院	診療所	総数	病院	診療所	
医科・薬局調剤 [医科分]	総数	総数									
		薬剤料	27.5 (27.6)	25.6 (26.0)	30.4 (30.4)	27.1 (27.0)	25.7 (26.0)	29.1 (28.4)	28.0 (28.5)	25.4 (25.9)	32.7 (33.7)
		投薬・注射	25.3	23.0	28.8	24.9	23.1	27.4	25.9	23.0	31.3
		投薬	20.7	17.1	26.3	20.7	17.5	25.2	20.8	16.6	28.4
		注射	4.6	6.0	2.5	4.2	5.6	2.2	5.2	6.4	2.9
	その他の薬剤料	2.2	2.5	1.6	2.2	2.7	1.7	2.0	2.4	1.4	
	入院	入院									
		薬剤料	11.3 (12.0)	11.3 (12.0)	12.4 (13.0)	10.9 (11.4)	10.9 (11.5)	10.2 (10.7)	11.7 (12.6)	11.6 (12.6)	14.2 (14.9)
		投薬・注射	9.4	9.3	9.8	9.0	9.1	8.2	9.7	9.6	11.2
		投薬	2.5	2.5	3.1	2.6	2.6	2.4	2.3	2.3	3.7
		注射	6.9	6.9	6.7	6.4	6.4	5.8	7.4	7.4	7.4
	その他の薬剤料	2.0	1.9	2.5	1.9	1.9	2.0	2.0	2.0	3.0	
	入院外	入院外									
		薬剤料	35.8 (36.6)	42.3 (43.7)	31.0 (31.1)	33.9 (34.4)	40.0 (41.6)	29.5 (28.9)	39.0 (40.2)	46.2 (47.0)	33.6 (34.6)
		投薬・注射	33.5	39.1	29.4	31.5	36.6	27.8	37.0	43.2	32.3
投薬		30.1	34.2	27.1	28.2	31.8	25.7	33.3	38.2	29.6	
注射		3.4	4.9	2.3	3.3	4.8	2.1	3.7	5.0	2.7	
その他の薬剤料	2.3	3.2	1.5	2.4	3.4	1.7	2.0	3.0	1.3		
歯科・薬局調剤 [歯科分]	薬剤料	1.2	-	-	1.3	-	-	1.1	-	-	

注:1) 「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCIに係る明細書は除外してある。
 2) 薬局調剤分(調剤報酬明細書分)は、総点数、薬剤料を医科、歯科それぞれに合算している。
 3) 薬局調剤分(調剤報酬明細書分)の内服薬及び外用薬を「投薬」に、注射薬を「注射」に合算している。
 4) 「その他の薬剤料」とは、総点数に占める、「在宅医療」「検査」「画像診断」「リハビリテーション」「精神科専門療法」「処置」「手術」及び「麻酔」の中で使用された薬剤料点数の割合である。
 5) 入院時食事療養は、費用額算定を点数換算(入院時食事療養÷10)して総点数に含めている。
 6) ()内は平成15年6月審査分

(医科薬剤)

第15表 処方の状況(入院外)

(単位:%) (平成16年6月審査分)

	総数	院内処方	院外処方*	院内院外両方	処方なし	包括点数算定	1件当たり処方回数		
							院内処方(回数)	院外処方(回数)	
総数	100.0 (100.0)	38.4 (41.0)	44.6 (42.3)	0.5 (0.4)	14.5 (14.3)	2.0 (2.0)	1.55 (1.61)	1.42 (1.49)	
一般医療	100.0 (100.0)	37.6 (40.0)	42.5 (40.7)	0.5 (0.4)	16.8 (16.3)	2.7 (2.6)	1.46 (1.51)	1.37 (1.41)	
老人医療	100.0 (100.0)	40.4 (43.6)	49.9 (46.0)	0.5 (0.5)	8.8 (9.3)	0.4 (0.6)	1.75 (1.86)	1.55 (1.67)	
年齢階級	0～14歳	100.0	30.2	39.9	0.6	18.0	11.3	1.37	1.45
	15～39歳	100.0	35.4	40.2	0.5	23.8	0.1	1.33	1.30
	40～69歳	100.0	40.5	44.0	0.4	13.9	1.2	1.52	1.37
	70～79歳	100.0	40.9	49.0	0.4	9.3	0.4	1.69	1.50
	80歳以上	100.0	39.7	50.6	0.6	8.2	0.9	1.83	1.60

注:1) *は全明細書に対する「処方せん料」が算定されている明細書の割合である。

2) ()内は平成15年6月審査分

(薬局調剤)

第16表 件数・処方せん受付回数・総点数、一般医療 - 老人医療・
処方せん発行医療機関別

(単位:千) (平成16年6月審査分)

	件数	受付回数	総点数
総数	30 466	43 940	28 542 101
病院	10 590	13 878	13 681 112
一般診療所	19 551	29 660	14 778 436
歯科単科病院及び歯科診療所	324	401	82 554
一般医療	21 784	30 240	17 547 811
病院	7 066	8 942	8 074 013
一般診療所	14 429	20 939	9 398 703
歯科単科病院及び歯科診療所	289	360	75 095
老人医療	8 682	13 699	10 994 291
病院	3 524	4 936	5 607 099
一般診療所	5 123	8 721	5 379 733
歯科単科病院及び歯科診療所	35	42	7 459

注:病院には病院併設歯科を含む。

第17表 調剤行為別点数、一般医療 - 老人医療別

(単位:千) (平成16年6月審査分)

調剤行為	総数	一般医療	老人医療
総数	28 542 101	17 547 811	10 994 291
調剤技術料	6 613 295	4 187 310	2 425 985
指導管理料	1 643 943	1 150 184	493 759
薬剤料	20 234 289	12 175 973	8 058 316
特定保険医療材料料	42 880	31 226	11 654

用語の定義

- 一般医療**： 疾病又は負傷に関して、保険医療機関又は保険薬局において受けた療養の給付をいう（老人保健法の適用を受ける者を除く。）。
- 老人医療**： 老人保健法の適用を受ける者が疾病又は負傷に関して、保険医療機関又は保険薬局において受けた医療の給付をいう。
- 件数**： 明細書1枚を1件という。
なお、「診療報酬明細書(医科入院医療機関別包括評価用)」を総括表として、「診療報酬明細書(医科入院医療機関別包括評価用)」若しくは「医科入院明細書」が添付されている明細書は、総括表の単位で1件とした。
- 診療実日数（日数）**： 入院では当月中の入院日数をいい、入院外では当月中の外来、往診等で医師の診療を受けた日数をいう。
- 点数**： 各都道府県の支払基金支部及び国保団体連合会において審査決定された診療報酬点数及び調剤報酬点数をいう。
- 病院**：
- 精神病院** — 精神病床のみを有する病院
 - 結核療養所** — 結核病床のみを有する病院
 - 特定機能病院** — 高度の医療の提供、高度の医療技術の開発及び評価並びに高度の医療に関する研修を実施する能力を備え、かかる病院として適切な人員配置、構造設備等を有するとして厚生労働大臣の承認を受けた病院
 - 療養病床を有する病院** — 主として長期にわたり療養を必要とする患者を入院させる病床を有する病院
 - 一般病院** — 上記以外の病院
- 薬局調剤**： 健康保険法に基づく療養の給付の一環として、医療機関の保険医が患者に交付した処方せんに基づき、保険薬局において保険薬剤師が行う調剤業務をいう。
- 受付回数**： 保険薬局で当月中に処方せんを受け付けた回数をいう。

**「投薬」「注射」を
包括した診療行為** : 入院、入院外で次の診療行為をいう。

入 院 一 「老人特定入院基本料」、「療養病棟入院基本料」、「有床診療所療養病床入院基本料」、「特殊疾患入院医療管理料」、「回復期リハビリテーション病棟入院料」、「亜急性期入院医療管理料」、「特殊疾患療養病棟入院料」、「緩和ケア病棟入院料」、「精神科救急入院料」、「精神科急性期治療病棟入院料」、「精神療養病棟入院料」、「老人一般病棟入院医療管理料」、「老人性痴呆疾患治療病棟入院料」、「老人性痴呆疾患療養病棟入院料」、「診療所老人医療管理料」及び「診断群分類による包括評価等」

入 院 外 一 「小児科外来診療料」、「生活習慣病指導管理料」、「寝たきり老人在宅総合診療料」及び「在宅末期医療総合診療料」

薬 価 : 「薬価基準」に収載された価格

後 発 医 薬 品 : 診療報酬における後発医薬品使用環境整備の対象となる後発医薬品をいう。

薬 剤 名 無 記 載 : 電算化が行われていないものとして届け出た保険医療機関及び保険薬局で所定単位（内服薬は1剤1日分、屯服薬は1回分、外用薬は1調剤分）当たりの薬価が175円以下（17点以下）で、明細書に個々の薬剤名の記載のないものをいう。

薬 剤 種 類 数 : 「薬価基準」に収載されている品名単位ごとに数えたものをいう。
なお、薬剤名無記載については1種類としている。

薬 効 分 類 : 「日本標準商品分類」の「中分類87—医薬品及び関連製品」に準拠している。